

日本地震学会 2019 年度秋季大会

日程 2019年9月16日(月・祝)～18日(水)

会場 京都大学吉田キャンパス(京都府京都市左京区吉田本町)

【大会受付】国際科学イノベーション棟 1階 エントランス

【A会場】百周年時計台記念館 1階 百周年記念ホール 【B会場】国際科学イノベーション棟 5階 シンポジウムホール

【C会場】総合研究8号館 3階 NSホール 【D会場】百周年時計台記念館 2階 国際交流ホール I

【授賞式および記念講演】A会場 【ポスター会場】百周年時計台記念館 2階 国際交流ホール II・III

【団体展示】国際科学イノベーション棟 5階 ホワイエ

		A会場	B会場	C会場	D会場
9月16日 (月・祝)	09:30～12:00	S15. 強震動・地震災害	S09. 地震活動とその物理	S03. 地殻変動・GNSS・重力	S01. 地震の理論・解析法
	13:15～14:25	S20. 授賞式および記念講演 (A会場)			
	14:45～17:15	S15. 強震動・地震災害	S09. 地震活動とその物理	S03. 地殻変動・GNSS・重力 S19. 地震一般・その他	S02. 地震計測・処理システム
	17:15～18:45	ポスターセッション コアタイム (会場: 百周年時計台記念館 国際交流ホール II・III) S01. 地震の理論・解析法, S02. 地震計測・処理システム, S03. 地殻変動・GNSS・重力, S05. 地球熱学, S09. 地震活動とその物理, S15. 強震動・地震災害, S18. 地震教育・地震学史, S19. 地震一般・その他			
9月17日 (火)	09:15～12:15	S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動 S08. 地震発生の物理	S09. 地震活動とその物理 S06. 地殻構造	S17. 津波	S23. オープンデータと地震学
	13:30～17:00	S08. 地震発生の物理	S06. 地殻構造	S24. 2019年6月18日 山形県沖の地震 S04. テクトニクス	S23. オープンデータと地震学 S07. 地球及び惑星の深部構造と物性
	17:00～18:30	ポスターセッション コアタイム (会場: 百周年時計台記念館 国際交流ホール II・III) S04. テクトニクス, S06. 地殻構造, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性, S16. 地盤構造・地盤震動, S17. 津波, S23. オープンデータと地震学, S24. 2019年6月18日山形県沖の地震 †			
	19:00～21:00	懇親会 (会場: 京都大学生協吉田食堂)			
9月18日 (水)	09:15～12:00	S21. 長周期地震動 — その生成から構造物の 応答、社会の対応まで—	S08. 地震発生の物理	S22. 地震学における 機械学習の可能性	S10. 活断層・歴史地震
	13:00～14:30	ポスターセッション コアタイム (会場: 百周年時計台記念館 国際交流ホール II・III) S08. 地震発生の物理, S10. 活断層・歴史地震, S12. 岩石実験・地殻応力, S14. 地震予知・予測, S21. 長周期地震動 — その生成から構造物の応答、社会の対応まで—, S22. 地震学における機械学習の可能性			
	14:30～18:00	S25. パネルディスカッション 「南海トラフ巨大地震」	S12. 岩石実験・地殻応力 S11. 地震に伴う諸現象	S22. 地震学における 機械学習の可能性	S14. 地震予知・予測

†緊急セッション(S24)のポスターのみ3日間通して掲示。

S13は発表なし。S11, S20, S25は口頭発表のみ。S05, S18はポスター発表のみ。S21, S25は日本地震学会・日本地震工学会の合同セッション。

■大会受付 国際科学イノベーション棟 1階エントランス

受付時間: 8:50～17:00 (18日は15:30まで)

■団体展示 出展団体一覧(五十音順) 国際科学イノベーション棟 5階 ホワイエ (B会場前)

イネーブラー株式会社, 株式会社 aLab, 国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門/日本地球掘削科学コンソーシアム,
株式会社勝島製作所, 株式会社近計システム, クローバテック株式会社, ジオサーフ CS 株式会社, 株式会社ジオシス,
地震調査研究推進本部/文部科学省研究開発局地震・防災研究課, シュプリンガー・ジャパン株式会社, 株式会社東京測振,
白山工業株式会社, 株式会社ホームサイズモメータ

9月16日(月・祝) 口頭発表

A会場(百周年記念ホール) 午前 S15.強震動・地震災害 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 吉田沙由美・松浦律子・司 宏俊・友澤裕介	B会場(国際科学イノベーション棟シンポジウムホール) 午前 S09.地震活動とその物理 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 澤崎 郁・尾鼻浩一郎・楠城一嘉・永田広平	C会場(総合研究8号館NSホール) 午前 S03.地殻変動・GNSS・重力 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 縣 亮一郎・木戸元之・田中優作	D会場(時計台国際交流ホールI) 午前 S01.地震の理論・解析 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 西田 究・佐藤大祐
9:30 S15-01 余震記録を用いた経験的グリーンテンソル微分(EGTD)の境界高周波数の検討 *吉田沙由美、堀家正則(株式会社阪神コンサルタンツ)	9:30 S09-01 連測地震動記録の区間最大振幅がしたがる確率密度関数の導出 *澤崎 郁(国立研究開発法人防災科学技術研究所)	9:30 S03-01 地震間の測地データから示唆される千島海溝南部の火山弧と背弧の地殻の変形しやすさ *伊東優治 ¹ 、Wang Kelin ² 、西村卓也 ³ 、He Jiangheng ² (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² Pacific Geoscience Centre, Geological Survey of Canada、 ³ 京都大学防災研究所)	9:30 S01-01 高周波極限の近似によらない漸近波線理論:地震波動場の特異領域への応用 *蓬田 清(北海道大学・理学研究院・地球惑星ダイナミクス)
9:45 S15-02 入力波動場に基づく、3次元非線形建物-地盤相互作用解析法 *飯田昌弘(東京大学地震研究所)	9:45 S09-02 2018年北海道胆振東部地震の余震の震源メカニズム解と応力場 *薄田悠樹 ¹ 、勝俣 啓 ¹ 、一柳昌義 ¹ 、大園真子 ¹ 、青山 裕 ¹ 、田中 良 ¹ 、高田真秀 ¹ 、山口照寛 ¹ 、岡田和見 ¹ 、高橋浩晃 ¹ 、酒井慎一 ² 、松本 聡 ³ 、岡田知己 ⁴ 、松澤 暢 ⁴ 、平野舟一郎 ⁵ 、寺川寿子 ⁶ 、堀川信一郎 ⁶ 、小菅正弘 ⁷ 、片尾 浩 ⁸ 、飯尾能久 ⁹ 、長岡愛理 ⁹ 、津村紀子 ⁹ 、上野友岳 ¹⁰ 、2018年北海道胆振東部地震 合同地震観測グループ(¹ 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 ⁴ 東北大学大学院理学研究科地質学・噴火予知研究観測センター、 ⁵ 鹿児島大学大学院理工学研究科南西島孤地地震火山観測所、 ⁶ 名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター、 ⁷ 弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所、 ⁸ 京都大学防災研究所、 ⁹ 千葉大学理学部地球科学科、 ¹⁰ 防災科学技術研究所)	9:45 S03-02 陸・海域の測地データを用いたすべり逆解析へのデータ共分散の導入と南海トラフ域のすべり欠損分布推定への適用 *縣 亮一郎、飯沼卓史(海洋研究開発機構)	9:45 S01-02 地震波速度変化の統計的特徴(3) *中原 恒(東北大学大学院理学研究科)
10:00 S15-03 平面波入射を仮定しないで、地表地震動から地中の入射波を算定する方法 *竹中博士 ¹ 、小松正直 ¹ 、渡邊植實 ¹ 、大島光貴 ² 、中村武史 ³ (¹ 岡山大学、 ² 清水建設、 ³ 防災科学技術研究所)	10:00 S09-03 OBS観測による宮城県沖日本海溝アウターライズ域の地震活動 *尾鼻浩一郎、高橋 努、山本場二朗、藤江 剛、中村森之、三浦誠一、小平秀一(海洋研究開発機構)	10:00 S03-03 GNSSデータを用いた2000年三宅島・神津島周辺の地震・火山活動に伴う地殻変動のモデル化 *秋山峻寛 ¹ 、吉岡祥一 ² (¹ 神戸大学大学院理学研究科、 ² 神戸大学都市安全研究センター)	10:00 S01-03 地震学的データを用いた応力インバージョン手法の比較 *深畑幸俊 ¹ 、岩田貴樹 ² 、吉田圭佑 ³ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科、 ³ 東北大学大学院理学研究科)
10:15 S15-04 過去400余年間の日本の既往最大震度の推定 *松浦律子、石辺岳男、岩佐幸治、古村美津子(公益財団法人地震予知総合研究振興会)	10:15 S09-04 確率的地震動ハザード評価における震源断層をあらかじめ特定しにくい地震のモデル改良の検討 *森川信之 ¹ 、宮藤淳 ² 、藤原広行 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 大崎総合研究所)	10:15 S03-04 GNSSデータのソフトクラスリングに基づく伊豆半島基部のプロック境界推定:東海スロースリップ前後で変化はあったか? *三井雄太 ¹ 、渡邊 謙 ² (¹ 静岡大学理学部、 ² 元・静岡大学理学部)	10:15 S01-04 ベイズインバージョンの最適解について *佐藤大祐、深畑幸俊(京都大学防災研究所)
10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩
10:45 S15-05 2018年北海道胆振東部地震の距離減衰特性の特徴と震源域近傍における大振幅地震動に関する検討 *司 宏俊 ¹ 、古村美津子 ² 、松浦律子 ² (¹ 株式会社サイモリサーチ、 ² 公益財団法人地震予知総合研究振興会)	10:45 S09-05 2019年7月に南カルフォルニアで起きたM7.1の地震に先行する地震活動 *楠城一嘉(静岡県立大学)	10:45 S03-05 海底間音響測距観測による2011年東北地方太平洋沖地震後の余効すべり不均質性の直接検出 *山本龍典 ¹ 、日野亮太 ¹ 、木戸元之 ² 、本荘千枝 ¹ 、長田幸仁 ^{1,3} 、小平秀一 ⁴ 、中村森之 ⁴ (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ イネーブラ株式会社、 ⁴ 海洋研究開発機構海域地震火山部門)	10:45 S01-05 地震波干渉法による地震波速度構造モニタリング: 拡張カルマンフィルタの応用 *西田 究(東京大学地震研究所)
11:00 S15-06 2018年北海道胆振東部地震の広帯域震源モデル *永井夏穂、浅野公之、岩田知孝(京都大学防災研究所)	11:00 S09-06 世界の大規模地震の継続性(2—同規模の地震の継続と連動—) *橋本徹夫 ¹ 、横田 崇 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 愛知工業大学)	11:00 S03-06 南海トラフの斜め沈み込みによる横ずれ運動の可能性—潮岬海底谷での海底間音響測距観測— *木戸元之 ¹ 、荒木英一郎 ² 、辻 健 ³ 、山本龍典 ⁴ 、川田佳史 ¹ (¹ 東北大学災害科学国際研究所、 ² 海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター、 ³ 九州大学工学研究科 地球資源システム工学部門、 ⁴ 東北大学大学院理学研究科)	11:00 S01-06 地熱貯留層のイメージングのための全地震波形インバージョン(FWI) *笠原順三 ^{1,2} 、羽佐田葉子 ³ 、久誌陽康 ² (¹ 静岡大学防災総合センター、 ² エンジニアリング協会、 ³ 大和探査株式会社)
11:15 S15-07 ブロックインバージョン解析に基づく北海道西部の不均質減衰構造・震源特性・サイト増幅特性の推定 *友澤裕介 ¹ 、加藤研一 ¹ 、野尻輝一 ² (¹ 小堀鐸二研究所、 ² 北海道電力)	11:15 S09-07 海洋リソスフェア内地震のb値の歪速度依存性:低歪速度下における応力不均質性の進行の可能性 *篠島慎平 ¹ 、伊藤武男 ² (¹ 京都大学 防災研究所 附属地震予知研究センター、 ² 名古屋大学大学院 環境学研究科附属地震火山研究センター)	11:15 S03-07 Width of the strain concentration in the San-in Shear Zone as observed by a dense GNSS network *Angela Meneses-Gutierrez ^{1,2} 、Takuya Nishimura ³ (¹ Institute for Advanced Research, Nagoya University、 ² Disaster Mitigation Research Center, Nagoya University、 ³ Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)	11:15 S01-07 Effects of quasi-laminated random heterogeneity on surface wave propagation and apparent radial anisotropy *Yunao XU ¹ 、Kazunori Yoshizawa ^{1,2} 、Takashi Furumura ³ (¹ Graduate School of Science, Hokkaido University、 ² Faculty of Science, Hokkaido University、 ³ Earthquake Research Institute, Univ. of Tokyo)
11:30 S15-08 我が国で発生した内陸地震による基盤地震動の距離減衰曲線とその震源近傍特性 *池浦友則(鹿島建設株式会社技術研究所)	11:30 S09-08 規模の大きな内陸地震の震源周辺における地震活動の規模別頻度分布変化 *永田広平(気象庁気象研究所)	11:30 S03-08 GEONETデータ(F3解)に基づいた内陸SSE検出の試み *田中優作(東大地震研)	11:30 S01-08 New acoustic approximation for the transversely isotropic media with a vertical symmetry axis *Shibo Xu、Hitoshi Mikada (Kyoto University)
11:45 S15-09 初期条件の空間的不均質性を考慮した中規模横ずれ断層の動的破壊シミュレーション *川瀬 博 ¹ 、ソン ジカ ² 、ピタルカ アーベン ³ 、長嶋史明 ¹ 、伊藤恵理 ¹ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 京都大学工学研究科、 ³ ローレンス・リバモア国立研究所)	11:45 S09-09 有感余震活動度(K値)の距離変化:改良大森公式を2019年山形県南部沖地震(M6.8)の余震活動へ当てはめた結果 *服部健太郎、中西一郎(京都大学)	11:45 S03-09 海底圧力計記録に含まれる長周期潮汐成分を考慮した浅部スロースリップによる海底地殻変動の検出 *井上智裕 ¹ 、村本智也 ² 、福津大祐 ³ 、伊藤嘉宏 ⁴ 、日野亮太 ⁵ 、太田和晃 ⁴ 、鈴木秀市 ⁶ (¹ 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、 ³ 東京海洋大学、 ⁴ 京都大学防災研究所、 ⁵ 東北大学)	11:45 S01-09 0.1満点地震観測データのアレイ解析による2000年鳥取県西部地震震源域の地殻活動検出 *松本 聡 ¹ 、飯尾能久 ² 、酒井慎一 ³ 、加藤愛太郎 ³ 、0.1満点地震観測グループ(¹ 九州大学大学院理学研究科地震火山観測研究センター、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 東京大学地震研究所)
A会場(百周年記念ホール) 午後 S20.授賞式および記念講演 招待講演(講演時間16分・質疑応答4分) 座長 今西和俊・河原 純			
13:15 会長挨拶 13:18 授賞式 13:25 S20-01# 広帯域強震動の特性解明と予測手法の開発に関する研究 *岩城麻子(防災科学技術研究所) 13:45 S20-02# データ同化に基づく断層すべりの理解・予測と波動場推定の高度化に向けた研究 *加納裕行(東北大学理学研究科) 14:05 S20-03# 媒質境界が動的破壊におよぼす影響の数値 *平野史朗(立命館大理工)			
A会場(百周年記念ホール) 午後 S15.強震動・地震災害 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 三宅弘恵・長坂陽介・林元直樹・神定健二	B会場(国際科学イノベーション棟シンポジウムホール) 午後 S09.地震活動とその物理 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 松原 誠・小菅正裕・堀 高峰・久保久彦	C会場(総合研究8号館NSホール) 午後 S03.地殻変動・GNSS・重力 S19.地震一般・その他 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 福島 洋・渡邊俊一・熊澤貴雄	D会場(時計台国際交流ホールI) 午後 S02.地震計測・処理システム 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 座長 篠原雅尚・田中昌之・岩瀬良一・大竹和生
14:45 S15-10 SCEC Broadband Platformにおける強震動予測レシビ *三宅弘恵 ¹ 、岩城麻子 ² 、森川信之 ² 、前田宜浩 ² 、藤原広行 ² (¹ 東京大学、 ² 防災科学技術研究所)	14:45 S09-10 東海地域における小繰り返し地震活動 *松原 誠 ¹ 、佐藤比呂志 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東京大学地震研究所)	14:45 S03-10 千島海溝南西部根室沖における海底測地観測網の構築 *太田雄策 ¹ 、木戸元之 ² 、東 龍介 ¹ 、佐藤真樹子 ¹ 、鈴木秀市 ¹ 、山本龍典 ¹ 、高橋秀徳 ¹ 、木村友孝保 ¹ 、大塚英人 ¹ 、本荘千枝 ¹ 、日野亮太 ¹ 、大園真子 ³ 、岡田和見 ³ 、青田裕樹 ³ 、高橋浩晃 ³ 、篠原雅尚 ⁴ 、富田史章 ⁵ 、金松敏也 ⁵ 、シヨンカン ⁵ 、飯沼卓史 ⁵ (¹ 東北大学大学院理学研究科地質学・噴火予知研究観測センター、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 北海道大学大学院理学研究院地震火山観測センター、 ⁴ 東京大学地震研究所、 ⁵ 海洋研究開発機構)	14:45 S02-01 南島島帯域地震計の観測環境 *田中昌之(気象庁気象研究所)
15:00 S15-11 地震規模によらず応力降下量が一定となる地殻内地震に対するM ₀ -Sスケールリング *引間和人、新村明広(東京電力ホールディングス(株))	15:00 S09-11 日本全国の火山地域で発生する深部低周波地震の空間分布とその活動 *東原 亮、小原一成、竹尾明子、田中優作(東京大学地震研究所)	15:00 S03-11 ウェイブライダーを用いたGNSS-音響測距結合方式の海底地殻変動観測(序報) *飯沼卓史 ¹ 、木戸元之 ² 、太田雄策 ³ 、福田達也 ¹ 、富田史章 ¹ 、植木 徹 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 東北大学大学院理学研究科)	15:00 S02-02 次世代観測へ向けた自律動作方式の高性能広帯域海底地震計:NX-2G *塩原 肇 ¹ 、伊藤亜妃 ² 、杉岡裕子 ³ 、篠原雅尚 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構海域地震火山部門、 ³ 神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻)
15:15 S15-12 広域の観測記録を用いた2008年岩手県沿岸北部のスラブ内地震の震源モデルの推定 *熊谷周治 ¹ 、田中信也 ² 、新井健介 ³ (¹ 東北電力株式会社、 ² 東電設計株式会社、 ³ 清水建設株式会社)	15:15 S09-12 2008年岩手・宮城内陸地震の低周波余震の再検討 *小菅正裕(弘前大学理工学研究科)	15:15 S03-12 現在のGNSS-A観測網のSSE検出能力の評価 *横田裕輔 ¹ 、石川直史 ² (¹ 東京大学生産技術研究所、 ² 海上保安庁海洋情報部)	15:15 S02-03 DAS計測技術による三陸沖光ケーブル観測システムにおける海底地震観測 *篠原雅尚 ¹ 、山田知朗 ¹ 、悪原 岳 ¹ 、望月公広 ¹ 、酒井慎一 ¹ 、笠嶋丈夫 ² 、有岡孝祐 ² 、清川雅之 ³ 、久保俊輔 ⁴ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 富士通研究所、 ³ 富士通、 ⁴ フイケー技研)
15:30 S15-13 疑似点震源モデルへの方位依存型コーナー周波数の導入—2003年5月26日宮城県沖の地震への適用例— *長坂陽介、野津 厚(港湾空港技術研究所)	15:30 S09-13 奥会津地熱地域での涵蓋注水終了後に生じた微小地震群の移動とそれに続く非地震性の断熱膨張 *岡本京祐 ¹ 、易 利 ² 、浅沼 宏 ¹ 、岡部高志 ³ 、阿部泰行 ⁴ 、都築雅年 ⁵ (¹ 産業技術総合研究所、 ² 大阪大学、 ³ 地熱技術開発、 ⁴ 奥会津地熱、 ⁵ 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)	15:30 S03-13 GNSS-A海底地殻変動観測一次処理データフォーマットの作成と活用 *渡邊俊一 ¹ 、石川直史 ¹ 、横田裕輔 ² 、中村優斗 ¹ (¹ 海上保安庁海洋情報部、 ² 東京大学生産技術研究所)	15:30 S02-04 吾妻山における光ファイバーとDASによる地震観測 *西村太志 ¹ 、江本賢太郎 ¹ 、中原 恒 ¹ 、三浦 哲 ¹ 、山本希 ¹ 、杉村俊輔 ¹ 、植田尚大 ¹ 、石川 歩 ¹ 、木村恒久 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² シュルンベルジェ)
15:45 休憩	15:45 休憩	15:45 休憩	15:45 休憩
16:00 S15-14 緊急地震速報への海底地震観測データの活用 *林元直樹 ¹ 、阿久刀川 潤 ¹ 、野口恵司 ¹ 、森脇 健 ¹ 、森本雅彦 ¹ 、岡本國徳 ¹ 、小寺祐貴 ² 、瀧岡功史 ² 、干場充之 ² 、中村武史 ³ 、功刀 卓 ³ 、青井真 ³ (¹ 気象庁、 ² 気象研究所、 ³ 防災科学技術研究所)	16:00 S09-14 地震・ゆっくり地震の力学モデル *堀 高峰(国立研究開発法人海洋研究開発機構)	16:00 S03-14 Creep rates along the Philippine fault, Leyte Island, and possible repeating of Mw~6.5 earthquakes on an isolated locked patch *福島 洋 ¹ 、橋本 学 ² 、宮澤理絵 ² 、内田直希 ³ 、平 貴明 ⁴ (¹ 東北大学災害科学国際研究所、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 東北大学大学院理学研究科、 ⁴ カリフォルニア大学バークレー校バークレー地震研究所)	16:00 S02-05 WIN ネットワークを用いた映像伝送システムの作成 *大竹和生(気象大学校)
16:15 S15-15 2018年台湾花蓮地震への緊急地震速報(IPF法)の適用 *山田真澄 ¹ 、陳 達毅 ² 、瀧岡功史 ³ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 台湾中央気象局、 ³ 気象研究所)	16:15 S09-15 微動パッチ分布とETSイベントの成長過程 *中本敬大 ¹ 、平松良浩 ¹ 、内出崇彦 ² 、今西和俊 ² (¹ 金沢大学、 ² 産業総合技術研究所)	16:15 S03-15 測地学的に推定される2018年北海道胆振東部地震の断層面の位置と形状 *小林知雄、林 京之介、矢来博司(国土地理院)	16:15 S02-06 微弱な信号を検出するための2点地震観測法の提案 *堀内茂木 ¹ 、加藤愛太郎 ² (¹ 株式会社ホームサイスマータ、 ² 東京大学)
16:30 S15-16 Estimation of fault geometry to obtain an accurate seismic intensity in real time *YING XIAO ¹ 、Masumi Yamada ² (¹ Key Laboratory of Earthquake Engineering and Engineering Vibration, Institute of Engineering Mechanics, China Earthquake Administration、 ² DPRI, Kyoto University)	16:30 S09-16 スロー地震活動特性空間分布の特徴とその地球物理学的・地質学的環境要因 *小原一成(東京大学地震研究所)	16:30 S19-01 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構(CDR)の防災対策研究の取り組みについて *吉田和郎(株式会社ニュージェック)	16:30 S02-07 海底の傾斜がエアガンの観測波形による海底加速度計の設置方位及び海底表層地震波速度推定に及ぼす影響について *岩瀬良一(海洋研究開発機構)
16:45 S15-17 Mwは地震動即時警報に有効か?:地震動予測の観点から *干場充之(気象研究所)	16:45 S09-17 日本海溝沿いにおけるプレート境界型大地震の破壊領域とスロー地震活動の空間的関係:2011年東北地震の二大余震を例として *久保久彦 ¹ 、西川友章 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 京都大学防災研究所)	16:45 S19-02 北海道胆振東部地震の本震前後の地震活動の特徴について *熊澤貴雄 ¹ 、尾形良彦 ² 、鶴岡 弘 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 統計数理研究所)	16:45 S02-08 被災度判定計を用いた防災ネットワークシステムの徳島県における実証実験 その2 計測入力データとその利活用について 梶川久光 ¹ 、白井亮太郎 ² 、岡田由佳 ³ 、小川春彦 ⁴ 、三津橋 歩 ⁴ (¹ 明治大学理工学部、 ² 明治大学大学院理工学研究科建築・都市学専攻修士課程、 ³ ミサワホーム株式会社、 ⁴ 株式会社ミサワホーム総合研究所)
17:00 S15-18 強震動防災のための高密度観測の重要性 *神定健二、高橋 功、篠原芳紀、ibrahim rami(俄高見沢サイバネティクス)	17:00 S09-18 紀伊半島から日向灘にかけてのスロー地震に関連したb値の空間分布 *千葉慶太(九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター)	17:00 S19-03 寄書 巨大地震に届かない防災行政 *谷 和信(無事総研(株))	17:00 S02-09 被災度判定計を用いた防災ネットワークシステムの徳島県における実証実験 その3 Sa-Sd曲線に関する検討 梶川久光 ¹ 、岡田由佳 ³ 、白井亮太郎 ² 、小川春彦 ⁴ 、三津橋 歩 ⁴ (¹ 明治大学理工学部、 ² 明治大学大学院理工学研究科建築・都市学専攻 修士課程、 ³ ミサワホーム株式会社、 ⁴ 株式会社ミサワホーム総合研究所)

#は招待講演

ポスター発表 9月16日(月・祝)17:15~18:45 ポスター会場(百周年時計台記念館 国際交流ホールII・III)

S01, S02, S03, S05, S09, S15, S18, S19, S24

S01.地震の理論・解析法	S05.地球熱学	S15.強震動・地震災害
S01P-01 即時に生じた重力擾動に対する弾性体の過渡的応答の根源的性質:「総内力ゼロ」となる不思議な弾性変形様式とその物理機構 *亀 伸樹、木村将也(東京大学地震研究所)	S05P-01 南九州のメディボリス地熱地帯における光ファイバー-DASと地表地震計を用いた地震学的研究 *笠原順三 ^{1,2} 、羽佐田葉子 ^{3,2} 、久 詔陽康 ² 、藤瀬吉博 ⁴ 、三ヶ田 均 ⁵ 、山本圭吾 ⁵ (¹ 静岡大学防災総合センター、 ² エンジニアリング協会、 ³ 大和探査株式会社、 ⁴ WELMA、 ⁵ 京都大学)	S15P-01 SPAC法による2次元レイ:SPAC係数虚部成分の利用について *長 郁夫(産業技術総合研究所)
S01P-02 pseudo-bending method とshortest path methodによる波線の比較 *関口渉次(国立研究開発法人 防災科学技術研究所)		S15P-02 韓国南東部2016年地震前後の散乱変化 *Iqbal Zafar ^{1,2} 、Chung Tae Woong ¹ (¹ 世宗大学、 ² パキスタン、イスラマバード微小地震研究プログラム)
S01P-03 分岐断層の破壊進展方向に関するXFEMシミュレーション *山下大輝、後藤浩之、澤田純男(京都大学防災研究所耐震基礎研究室)		S15P-03 模擬砂層地盤を用いた弾性波モニタリングによる強震動に伴う弾性波応答特性の変化の検討 *角谷 剣、川方裕則、平野史朗(立命館大学)
S01P-04 差分法を用いたスカラー波のweak localizationのシミュレーション *佐藤雅将、河原 純(茨城大学大学院理工学研究科)	S09.地震活動とその物理	S15P-04 地表の上下動の強震記録に基づく上下動の地盤増幅特性の非線形性の識別 *佐藤智美(清水建設(株)技術研究所)
S01P-05 波動場の回転・発散成分を用いた表面波の位相速度推定 - 東海岸岸北部におけるシミュレーション波形を用いた検討 - *島津香織 ¹ 、吉本和生 ¹ 、武村俊介 ² (¹ 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科、 ² 東京大学地震研究所)	S09P-01 相互相関解析による南海トラフ沿いで発生する浅部超低周波地震の検出と相対震央決定 *武村俊介 ¹ 、浅野陽一 ² 、松澤孝紀 ² 、野田朱美 ² 、久保田達矢 ² 、汐見勝彦 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研究所)	S15P-05 平成30年北海道胆振東部地震の液化化地点分布と近年の地震による液化化被害率の検討について *先名重樹、小澤京子(防災科学技術研究所)
S01P-06 地殻構造のランダム不均質の揺らぎの大きさや地震波振幅のばらつき - 地震動シミュレーションによる評価 - *吉本和生 ¹ 、武村俊介 ² (¹ 横浜市立大学、 ² 東京大学地震研究所)	S09P-02 西南日本における超低周波地震の網羅的検出 *馬場 慧、武村俊介、小原一成(東京大学地震研究所)	S15P-06 地震ハザード評価高度化のための多変量解析による定量的な地震地体構造区分の考察 *大西耕造 ¹ 、隈元 崇 ¹ 、森 今日子 ² (¹ 岡山大学、 ² 国土地理院)
S01P-07 遠地地震のS波入射に対する関東堆積盆地の応答 - 直達波および後続波エネルギーの空間分布 - *中川結絵 ¹ 、吉本和生 ¹ 、武村俊介 ² (¹ 横浜市立大学、 ² 東京大学地震研究所)	S09P-03 駿河湾におけるOBS観測記録への低周波微動検出手法適用の試み *西宮隆仁 ¹ 、小林昭夫 ¹ 、淵淵功史 ¹ 、馬場久紀 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 東海大学)	S15P-07 東北沖の陸海統合3次元構造モデルに基づく波形トモグラフィの試み *岡元太郎 ¹ 、竹中博士 ² 、中村武史 ³ (¹ 東京工業大学 理学院 地球惑星科学系、 ² 岡山大学大学院 自然科学研究科、 ³ 防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門)
S01P-08 海底地震計記録の自己相関関数の時間変化と海面における風の関係 *植村美優 ¹ 、伊藤喜宏 ² 、太田和晃 ² 、日野亮太 ³ 、篠原雅尚 ⁴ (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 東北大学災害科学国際研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所)	S09P-04 南海トラフ東部に沈み込み海嶺と浅部超低周波地震の震源分布 *藤 亜希子 ¹ 、Chen Wan-Jou ² 、Chi Wu-Cheng ² 、Dreger Doug ³ 、井出 哲 ¹ (¹ 東京大学、 ² 台湾中央研究院、 ³ UCバークレー)	S15P-08 2018年北海道胆振東部地震(Mw6.6)の強震動震源モデルの構築 *倉橋 翼、入倉孝次郎(愛知工業大学)
S01P-09 ScS多重反射の波形インバージョンによる上部マントル不連続面の推定について *丸山純平、川勝 均、内 希(東京大学地震研究所)	S09P-05 関東東海地震観測網のアナログ波形記録による1980年代の愛知県東部の低周波微動活動検出の試み *松澤孝紀、武田哲也(国立研究開発法人防災科学技術研究所)	S15P-09 2014年長野県北部の地震(Mj6.7)の長周期(2秒以上)地震動評価のための特性化震源モデル *松元康広 ¹ 、宮腰 研 ² 、入倉孝次郎 ³ (¹ (株)構造計画研究所、 ² (一財)地域 地盤 環境研究所、 ³ 愛知工業大学)
S02.地震計測・処理システム	S09P-06 琉球海溝で超低周波地震活動が続いて起こる地震活動 *中村 衛(琉球大学理学部)	S15P-10 波形インバージョンに基づく2017年メキシコPueblaスラブ内地震(Mw 7.2)の震源および強震動特性 *郭 雨佳、宮腰 研、鶴来雅人(地域地盤環境研究所)
S02P-01 津波地震の規模推定への利用を想定した広帯域地震計・速度型強震計の性能調査 *田中昌之、勝間田明男(気象庁気象研究所)	S09P-07 長期的スロースリップに伴う深部低周波微動の特徴的振幅の変化の空間分布 *中本敬大 ¹ 、平松良浩 ¹ 、松澤孝紀 ² (¹ 金沢大学、 ² 防災科学技術研究所)	S15P-11 1985年メキシコ地震の強震動生成域の推定 *小林広明 ¹ 、元木健太郎 ¹ 、加藤研一 ¹ 、渡部哲巳 ² 、石川直哉 ² 、川合佳穂 ² (¹ 小堀鑛二研究所、 ² 中部電力)
S02P-02 MEMS加速度センサを搭載した普及型計測震度計の開発とその活用 *内田 淳 ¹ 、大井昌弘 ² 、吉岡 薫 ³ 、大内芳弘 ¹ 、本橋恵三 ¹ (¹ 株式会社近計システム、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ³ 千葉県防災危機管理課)	S09P-08 蔵王山における深部低周波地震活動の時空間的特徴 *池谷拓馬、山本 希(東北大学)	S15P-12 1923年関東地震のSMGAモデルに基づく首都圏の強震動の面的評価 *鈴木文乃、加藤研一、渡辺哲也、友澤裕介(小堀鑛二研究所)
S02P-03 水晶振動子を用いた加速度計の特性に関する基礎的検討(その2) *松田滋夫 ² 、中仙道和之 ³ 、*盛川 仁 ¹ 、飯山かほり ¹ (¹ 東京工業大学、 ² クロバテック(株)、 ³ セイコーエプソン(株))	S09P-09 火山性深部低周波地震に見られる特徴的地震波形の数値モデリング: 共鳴効果の検討 *香山太一、小菅正裕、前田拓人(弘前大学大学院理工学研究科)	S15P-13 2016年熊本地震本震時における震源近傍記録再現のための巨視的・微視的断層パラメータの設定に関する検討 *真堂峻至 ¹ 、永野正行 ² (¹ 東京理科大学大学院、 ² 東京理科大学)
S02P-04 廉価な高密度強震観測ネットワークの実現に向けた試験観測(2) *赤澤隆士 ¹ 、伊藤貴盛 ² (¹ (一財)地域 地盤 環境 研究所、 ² (株)JaLab)	S09P-10 日本列島内陸域の相似地震活動 *五十嵐俊博(東京大学地震研究所)	S15P-14 地震発生層に浅ののための摩擦構成則: 特性化震源モデルへの適用 *加瀬祐子 ¹ 、入江紀嘉 ² 、堀 一男 ² 、鳥田晴彦 ² (¹ (国研)産業技術総合研究所、 ² (株)大崎総合研究所)
S02P-05 光ファイバーとDASを用いた吾妻山における地震観測: 稠密観測による不均質構造の推定 *江本賢太郎 ¹ 、西村太志 ¹ 、中原 恒 ¹ 、三浦 哲 ¹ 、山本 希 ¹ 、杉村俊輔 ¹ 、植田尚大 ¹ 、石川 歩 ¹ 、木村恒久 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² シュルンベルジェ)	S09P-11 南西諸島北部域における海底地震観測と検出された相似地震の特徴 *仲谷幸浩 ¹ 、八木原 寛 ¹ 、平野舟一郎 ¹ 、小林励司 ¹ 、宮町宏樹 ¹ 、中尾 茂 ¹ 、内田和也 ² 、松島 健 ² 、清水 洋 ² 、山下裕亮 ³ 、中東和夫 ⁴ 、山田知朗 ⁵ 、阿部英二 ⁶ 、篠原雅尚 ⁶ (¹ 鹿児島大学、 ² 九州大、 ³ 京大防災研、 ⁴ 東京海洋大、 ⁵ 東大地震研(現所属: 気象庁)、 ⁶ 東大地震研)	S15P-15 前方散乱モデルを導入した「揺れの数値予報」: 2016年熊本地震の例 *小木曾 仁(気象庁気象研究所)
S02P-06 九州北西部陸域から玄界灘周辺における高密度地震観測網(AG-net)の構築 *中元真美、澤田義博、笠原敬司、バナノヒロユキ、ヤニシ、関根秀太郎、阿部信太郎(公益財団法人地震予知総合研究振興会)	S09P-12 南西諸島北部の海域及び島嶼域における地震観測によるプレート境界面形状の推定(6) *八木原 寛 ¹ 、仲谷幸浩 ¹ 、平野舟一郎 ¹ 、小林励司 ¹ 、宮町宏樹 ¹ 、中尾 茂 ¹ 、山下裕亮 ² 、内田和也 ⁴ 、松島 健 ⁴ 、清水 洋 ⁴ 、中東和夫 ⁵ 、馬越孝道 ⁵ 、阿部英二 ⁶ 、池澤賢志 ⁶ 、諏訪祥士 ⁷ 、山田知朗 ⁷ 、篠原雅尚 ⁶ (¹ 鹿児島大学、 ² 京大防災研、 ³ 長崎大学、 ⁴ 九州大学、 ⁵ 東京海洋大学、 ⁶ 東大地震研、 ⁷ 東大地震研(現: 気象庁))	S15P-16 家具用免震装置の開発 *野間鉄心、林 春太郎、荒井賢一(栄東高等学校)
S02P-07 WIN/WIN32フォーマット地震波形ファイルの高速読み込みツールの開発 *前田拓人(弘前大学大学院理工学研究科)	S09P-13 2016年熊本地震の余震発生における間隙流体圧の役割 *中込大 ¹ 、寺川寿子 ¹ 、松本 聡 ² 、大倉敬宏 ⁴ (¹ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 2016年熊本地震 合同観測グループ(1九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ⁴ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ⁵ 2016年熊本地震 合同地観測グループ)	S15P-17 高知県内の強震観測記録の精査による考察 *山田伸之、大久保慎人(高知大学理工学部)
S02P-08 RaspberryPiを用いた強震計ソフトウェアの開発 *伊藤貴盛(株式会社JaLab)	S09P-14 2016年熊本地震震源域に見られる深部地震の特徴 *光岡郁穂 ¹ 、松本 聡 ² 、志藤あずさ ² 、2016年熊本地震 合同観測グループ(1九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ⁴ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻)	S18.地震教育・地震学史
S02P-09 地震波形の振幅の確率密度関数を用いたP波・S波到着時刻の読み取りのための最適な階級数の検討 *大島光貴 ¹ 、竹中博士 ² (¹ 清水建設、 ² 岡山大学)	S09P-15 2016年熊本地震震源域に見られる深部地震の特徴 *光岡郁穂 ¹ 、松本 聡 ² 、志藤あずさ ² 、2016年熊本地震 合同観測グループ(1九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ⁴ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻)	S18P-01 和歌山市内の私立保育施設における地震防災教育の実践的考察 *山田伸之(高知大学理工学部)
S03.地殻変動・GNSS・重力	S09P-16 コーダスペクトル比法に基づく2016年熊本地震の余震の震源パラメータ推定とその特徴 *前迫直人 ¹ 、松本 聡 ² 、光岡郁穂 ¹ 、2016年熊本地震 合同地観測グループ(1九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ⁴ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻)	S18P-02 東南海地震と当時の地震学 *武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター)
S03P-01 海底圧力計を用いた2018年房総沖スロースリップによる海底の上下変動の検出 *村田耕一 ¹ 、佐藤利典 ¹ 、堀原 肇 ² 、山田知朗 ² 、篠原雅尚 ² (¹ 千葉大学、 ² 東京大学地震研究所)	S09P-17 九州の下部地殻における非弾性変形と地震活動について *湯浅雄平 ¹ 、松本 聡 ² 、中尾 茂 ³ 、松島 健 ² 、大倉敬宏 ⁴ (¹ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ⁴ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻)	S18P-03 高校生、高専生、地域が一体となった活断層研究 *岡本拓夫(福井工業高等専門学校)
S03P-02 長基線レーザー伸縮計の特性とスロースリップの検知能力 *勝間田明男 ¹ 、高森昭光 ² 、新谷昌人 ² 、田中昌之 ¹ (¹ 気象庁気象研究所、 ² 東京大学)	S09P-18 地動ノイズに含まれる等時間差の相似波形 *勝俣 啓、一柳昌義(北海道大学大学院理学府地球惑星科学専攻)	S19.地震一般・その他
S03P-03 関東地方におけるスロースリップイベントの系統的検出の試み *高木涼太 ¹ 、内田直希 ¹ 、小原一成 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² 東京大学地震研究所)	S09P-19 海底地震観測網を活用した自動震源決定(PF法)の評価 *淵淵功史 ¹ 、岩崎友理子 ² 、岩切一宏 ² 、上野 寛 ² (¹ 気象研究所、 ² 気象庁)	S19P-01 On smoothing of time series for high frequency seismic signal duration measurements *原 辰彦(建築研究所国際地震工学センター)
S03P-04 Ground deformation induced by a strong squall line: A case study in the Weihe Basin, North China *Yang Xiaolin ¹ 、Wei Zigen ² (¹ Shaanxi Earthquake Agency, Xi'an, China、 ² Institute of Geodesy and Geophysics, Chinese Academy of Sciences, Wuhan, China)	S09P-20 2011年東北沖地震後の流体圧変化に伴う内陸の群発地震震源域近傍の速度構造の時間変化 *吉田圭佑 ¹ 、長谷川 昭 ¹ 、行竹洋平 ² 、松澤 暢 ¹ (¹ 東北大学理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 ² 神奈川県温泉地学研究所)	S19P-02 観測点側から見た一元化処理震源カタログ *関根秀太郎(公益財団法人地震予知総合研究振興会)
S03P-05 Earthquake potential in Costa Rica based on GNSS observations using three scenarios for the geometry of the Central Costa Rica block. *Luis Alejandro Carvajal Soto ¹ 、Takeo Ito ² 、Marino Protti ³ 、Hirosi Kimura ¹ (¹ Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University、 ² Earthquake and Volcano Research Center, Nagoya University、 ³ Observatorio Vulcanológico y Sismológico de Costa Rica (OVSICORI), Universidad Nacional de Costa Rica)	S09P-21 森吉山地域の群発地震に見られる特徴的な散乱波群の波形形状の時間変化とその要因 *雨澤勇太、小菅正裕、前田拓人(弘前大学大学院理工学研究科)	S19P-03 分散設置された加速度計のデータ収集自動化Webアプリケーションの開発 *古園 誠(東京電機大学)
S03P-06 奥尻島における1993年北海道南西沖地震以降25年間の地殻上下変動 *穴倉正展 ¹ 、宮内崇裕 ² 、越後智雄 ³ 、伊藤谷生 ⁴ 、荒井良祐 ⁵ 、副田宜男 ⁶ 、武田大典 ⁷ 、栗林知史 ⁸ 、小林大育 ⁹ 、前菜英明 ¹⁰ 、塚原柚子 ² (¹ 産業技術総合研究所、 ² 千葉大学、 ³ 地域地盤環境研究所、 ⁴ 地震予知総合研究振興会、 ⁵ 川崎地質株式会社、 ⁶ 西日本技術開発株式会社、 ⁷ 株式会社バスコ、 ⁸ 徳島県、 ⁹ 神奈川県、 ¹⁰ 法政大学)	S09P-22 徳山ダムにおける微小地震観測(第3報) *佐野貴之 ¹ 、塚本 守 ¹ 、曾田英理 ² 、三塚 隆 ³ 、神藤史明 ³ 、片尾 浩 ⁴ (¹ 独立行政法人水資源機構、 ² 一般財団法人国土技術研究センター、 ³ 地質計測株式会社、 ⁴ 京都大学防災研究所)	
S03P-07 リアルタイム津波・地殻変動観測システムの開発と海底圧力連続観測 *高橋成実 ¹ 、今井健太郎 ² 、木戸元之 ³ 、太田雄策 ³ 、福田達也 ² 、石原靖久 ² 、越智 寛 ² 、日野亮太 ³ (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ³ 東北大学)	S09P-23 大規模4次元変分法データ同化に基づくスロースリップ断層面における摩擦特性不均一性の不確実性評価 *伊藤伸一 ^{1,2} 、加納将行 ³ 、長尾大 ^{1,2} (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京大学大学院情報理工学系研究科、 ³ 東北大学大学院理学研究科)	
S03P-08 南海トラフ沿いにおけるGNSS-A観測点の増設(2019年度) *中村優斗 ¹ 、石川直史 ¹ 、渡邊俊一 ¹ 、横田裕輔 ² (¹ 海上保安庁海洋情報部、 ² 東京大学生産技術研究所)	S09P-24 鳥取県西部地震震源領域における高精度メカニズム解と非ダブルカップル成分検出 *林田祐人 ¹ 、松本 聡 ² 、飯尾能久 ³ 、酒井慎一 ⁴ 、加藤愛太郎 ⁴ 、0.1満点地震 観測グループ(1九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学防災研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所)	
S03P-09 アラスカ南東部における氷河融解に伴う重力変化: 数値モデリングと地下粘弾性構造 *長縄和洋 ¹ 、風間卓仁 ¹ (¹ 京都大学大学院理学研究科)	S09P-25 2016年ニュージーランド・カイコウラ地震の震源域における応力場(2) *松野弥愛 ¹ 、岡田知己 ¹ 、松本 聡 ² 、河村優太 ² 、飯尾能久 ³ 、佐藤 将 ¹ 、Bannister Stephen ⁴ 、Ristau John ⁴ 、Savage Martha ⁵ 、Pettinga Jarg ⁶ 、Sibson Richard ⁷ (¹ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 ² 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ 九州大学防災研究所、 ⁴ GNS Science, New Zealand、 ⁵ Victoria University of Wellington, Wellington, New Zealand、 ⁶ University of Canterbury, Christchurch, New Zealand、 ⁷ University of Otago, Dunedin, New Zealand)	S19P-04 5ページ参照
S03P-10 北海道北部における衝突帯位置と収束速度の推定 *伊藤ちひろ ¹ 、高橋浩晃 ² 、大園真子 ² 、Vasilenko Nikolay ³ 、Prytkov Alexander ³ (¹ 北海道大学大学院理学院、 ² 北海道大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ³ Institute of Marine Geology and Geophysics, Russian)	S09P-26 東日本太平洋地震後地震活動の時空間的特徴 *段 美彦、山田卓司(茨城大学)	
S03P-11 SAR時系列解析による2016年熊本地震後の阿蘇火山における地殻変動の検出 *姫松裕志、小澤 拓(防災科学技術研究所)	S09P-27 Spatio-temporal clustering of successive earthquakes in Japan: analyses of JMA catalogue *Thystere Matondo Bantidi、Takeshi Nishimura(Tohoku University)	
S03P-12 南九州せん断帯のGNSS観測と数値モデリング *渡部 豪、浅森浩一(日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター)	S09P-28 内陸地震におけるM3以上の地震モーメントの推定 *上野友岳、齊藤竜彦、野田朱美(防災科学技術研究所)	
S03P-13 EnKFによる粘弾性変形および粘性構造の推定 - 数値実験 *大谷真紀子(産業技術総合研究所)	S09P-29 日本列島下における内陸地震の余震域の広が *田中佐千子、齊藤竜彦、野田朱美(防災科学技術研究所)	
S03P-14 Reversible-jump MCMCを用いた粘弾性インバージョンによる断層すべり分布推定の試み *富田史章、飯沼卓史、藤 亮一郎、堀高峰(国立研究開発法人海洋研究開発機構)	S09P-30 津波地震の前震および余震活動の時空間的特徴と波形的特徴 *劉 弋鋒 ¹ 、伊藤喜宏 ² 、太田和晃 ² 、片上智史 ¹ (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所)	
S03P-15 余効変動におけるレオロジーおよびジオメトリ構造が及ぼす影響について *星野宏行 ¹ 、宮崎真一 ¹ 、大谷真紀子 ² 、平原和朗 ³ (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 産業技術総合研究所、 ³ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進新機構)		

9月17日(火) 口頭発表

A会場 (百周年記念ホール) 午前 S15.強震動・地震災害 S16.地盤構造・地盤震動 S08.地震発生の物理 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	B会場 (国際科学イノベーション棟シンポジウムホール) 午前 S09.地震活動とその物理 S06.地殻構造 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	C会場 (総合研究8号館NSホール) 午前 S17.津波 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	D会場 (時計台国際交流ホール1) 午前 S23.オープンデータと地震学 招待講演 S23-01,02 (講演時間25分・質疑応答5分) 招待講演 S23-03/通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 加納靖之・汐見勝彦・石川直史
座長 古村孝志・土田琴子・安藤亮輔・野田朱美 9:15 S15-19 大陸および海域を伝播する特徴的なLove波パルス *古村孝志 ¹ 、ブライアン・ケネット ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² オーストラリア国立大学地球科学研究所) 9:30 S15-20 横手盆地の推定地盤構造に基づく予測強震動 佐藤啓太 ¹ 、*松島信一 ² 、De Martin Florent ³ (¹ 西日本旅客(株)、 ² 京大防災研究所、 ³ フランス地質調査所)	座長 東 龍介・新井隆太 9:15 S09-19 弾性・粘弾性媒質における地震による歪みエネルギー変化の可視化と定量化:波数積分法による計算 *青藤竜彦、野田朱美(防災科学技術研究所) 9:30 S09-20 房総半島下の正断層地震の発生メカニズム *橋間昭徳 ¹ 、佐藤比呂志 ¹ 、佐藤利典 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 千葉大学大学院理学研究院)	座長 綿田辰吾・勝間田明男・久保田達矢・楠本 聡 9:15 S17-01 2018年スダグ海峡津波の発生メカニズム *綿田辰吾 ¹ 、山田真澄 ² 、Mulia Iyan ¹ 、Karyono Karyono ³ 、Aditya Arif ⁴ 、Sianpar Dimas ⁵ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 京都大学防災研究所、 ³ インドネシア気象庁気候地球物理庁、 ⁴ インドネシアアリア空間情報庁、 ⁵ 台湾国立中央大学) 9:30 S17-02 Tsunami simulation due to the Anak Krakatau Volcano activities on 22 December 2018 and analyses on the potential future observing systems *Mulia Iyan ¹ 、綿田辰吾 ¹ 、Ho Tung-Cheng ¹ 、佐竹健治 ¹ 、Wang Yuchen ¹ 、Aditya Arif ² (¹ 東京大学、 ² インドネシア国土地理院)	9:15 S23-01# オープンサイエンス、研究データオープン化の国際的な推進の現状とその在り方について *村山泰啓(情報通信研究機構)
9:45 S16-01 スペクトル・インバージョンで求めたサイト増幅特性による基盤地震動の逆算 *伊藤恵理 ¹ 、仲野健一 ² 、川瀬 博 ¹ (¹ 京大防災研究所、 ² 安藤・ハザマ技術研究所)	9:45 S06-01 ヒランギ沈み込み帯北部プレート境界浅部周辺のP波異方性構造 *新井隆太 ¹ 、小平秀一 ¹ 、Henry Stuart ² 、Bangs Nathan ³ 、尾島浩一郎 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、三浦誠一 ¹ 、Basset Dan ² 、Barker Dan ² 、Bell Rebecca ⁴ 、望月公廣 ⁵ 、NZ ³ D Team(¹ 海洋研究開発機構、 ² GNS Science、 ³ Univ. of Texas、 ⁴ Imperial College London、 ⁵ 東京大学地震研究所)	9:45 S17-03 2018インドネシア・スラウェシ島M7.5地震源と津波源の研究 *何 東政 ¹ 、佐竹健治 ¹ 、綿田辰吾 ¹ 、Mulia Iyan ¹ 、青木陽介 ¹ 、Chuang Ray ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 国立台湾大学地理系)	9:45 S23-02# Recent activity of data publication and data citation in the international community of geomagnetism *能勢正仁 ¹ 、村山泰啓 ² 、木下武也 ³ 、小山幸伸 ⁴ 、西岡未知 ⁵ 、石井 守 ⁶ 、国武 学 ² 、今井弘二 ² (¹ 名古屋大学 宇宙地球環境研究所、 ² 情報通信研究機構 戦略的プログラムオフィス、 ³ 海洋研究開発機構、 ⁴ 近畿大学工業高等専門学校、 ⁵ 情報通信研究機構 電離圏・宇宙天気に関する世界資料センター)
10:00 S16-02 水平2成分の微動アレイ観測記録を用いた最尤法によるラブ位相速度抽出の可能性 *土田琴子、堀家正則、山田浩二、末廣匡喜、吉田沙由美(株式会社阪神コンサルタンツ)	10:00 S06-02 北海道胆振地方の地震波速度構造 *椎名高裕 ¹ 、勝保啓 ² 、一柳昌義 ² 、高橋浩晃 ² 、中村亮一 ¹ 、加藤愛太郎 ¹ 、大園真子 ² 、青山 裕 ² 、田中 良 ² 、高田真秀 ² 、山口照寛 ² 、岡田和見 ² 、酒井慎一 ¹ 、松本 聡 ³ 、岡田知己 ⁴ 、松澤 暢 ⁴ 、平野舟一郎 ⁵ 、寺川寿子 ⁶ 、堀川信一郎 ⁶ 、小菅正裕 ⁷ 、片尾 浩 ⁸ 、飯尾能久 ⁸ 、長岡愛理 ⁹ 、津村紀子 ⁹ 、上野友岳 ¹⁰ 、2018年北海道胆振東部地震 合同観測グループ(¹ 東京大学地震研究所、 ² 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ³ 九州大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ⁴ 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 ⁵ 鹿児島大学大学院理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 ⁶ 名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター、 ⁷ 弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所、 ⁸ 京都大学防災研究所、 ⁹ 千葉大学理学部地球科学科、 ¹⁰ 防災科学技術研究所)	10:00 S17-04 A Method of Real-Time Tsunami Detection *宇 宇 宇、佐竹健治(東京大学地震研究所)	10:15 S23-03# 2019年に開始された「地震調査研究の推進について(第3期)」の概要 *林 豊(文部科学省)
10:15 S16-03 微動及び地震動記録を用いた津軽平野の堆積平野速度構造の推定 *浅野公一 ¹ 、岩田知孝 ¹ 、吉田邦一 ² 、大塚道広 ³ 、宮腰 研 ² (¹ 京大防災研究所、 ² 一般財団法人地域地盤環境研究所、 ³ 福井大学附属国際原子力工学研究所)	10:15 S06-03 2018年胆振東部地震震源域のトモグラフィと異方性構造 *趙 大鵬 ¹ 、Gou Tao ² 、Huang Zhouchuan ² 、Wang Liangshu ² (¹ 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 南京大学地球科学系)	10:15 S17-05 スロー津波地震の規模推定手法の検討(4) *勝間田明男、田中昌之(気象庁気象研究所)	10:30 休憩
10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩
10:45 S08-01 GNSSデータを用いたアンサンブルカルマンフィルタによる震後水道長期的SSEのすべり発展推定に向けた数値実験 *藤田明実 ¹ 、西村卓也 ² 、平原和朗 ^{3,4} 、兵藤 守 ⁵ 、宮崎真一 ¹ (¹ 京大大学院理学研究科、 ² 京大防災研究所、 ³ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、 ⁴ 理化学研究所、 ⁵ 海洋研究開発機構)	10:45 S06-04 海底観測点でのレイリー波の楕円率:海水と堆積層の影響 *福島 駿、逢田 清(北海道大学理学部自然史科学専攻地震学研究室)	10:45 S17-06 2015年Mw6.0小笠原海溝地震の近地アレー観測:前震一本震一海底変動一津波発生一余効変動 *深尾良夫 ¹ 、杉岡裕子 ² 、伊藤亜妃 ¹ 、山下幹也 ^{1,5} 、利根川貴志 ¹ 、堀原 肇 ³ 、久保田達矢 ⁴ 、青藤竜彦 ⁴ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 神戸大学、 ³ 地震研(東京大学)、 ⁴ 防災科学技術研究所、 ⁵ 産総研地質調査総合センター)	10:45 S23-04 地震・津波ハザード評価のための海域地質断層データベースの構築と利活用 *中西理子 ¹ 、鎌田弘己 ¹ 、高橋成実 ^{1,2} 、田中恵介 ¹ 、藤原広行 ² 、大角恒雄 ² 、井上卓彦 ² 、佐藤智之 ³ 、金田義行 ^{1,2,4} (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ³ 国立研究開発法人産業技術総合研究所、 ⁴ 香川大学)
11:00 S08-02 測地データと物理モデルに基づいたプレート境界地震発生シナリオの構築 *野田朱美 ¹ 、青藤竜彦 ¹ 、福山英一 ^{1,2} (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 京大大学院工学研究科社会基盤工学専攻)	11:00 S06-05 S-netで観測された遠地地震震表面波の到達時間空間勾配を用いた位相速度推定 *石上 朗、高木涼太(東北大学)	11:00 S17-07 2015年Mw6.0小笠原海溝地震の近地アレー観測:津波発生場の海底水圧変動モデリング *久保田達矢 ¹ 、青藤竜彦 ¹ 、深尾良夫 ² 、杉岡裕子 ³ 、伊藤亜妃 ² 、山下幹也 ^{2,4} 、利根川貴志 ² 、堀原 肇 ⁵ (¹ 防災科研、 ² JAMSTEC、 ³ 神戸大学、 ⁴ 産総研地質調査総合センター、 ⁵ 東大地震研)	11:00 S23-05 防災科研MOWLAS観測データへのDOI付与とその背景 *汐見勝彦、近真直孝、青井 真、高橋成実、浅野陽一、木村武志、功刀 卓、上田英樹、植平賢司(防災科学技術研究所)
11:15 S08-03 2019年M7.1 Ridgecrest, CA, 地震の動的破壊シミュレーション:3次元断層形状の効果 *安藤亮輔 ¹ 、青木陽介 ² 、大坪 誠 ³ (¹ 京大大学院理学研究科、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 産業技術総合研究所)	11:15 S06-06 Investigating Japan Trench Outer Rise Structure off Sanriku and Miyagi Using Multichannel Seismic Reflection Survey *Ehsan Jamali Hondori ¹ 、Yue Sun ¹ 、Hyun-Woo Youn ¹ 、Katsura Kameo ¹ 、Masanari Ashida ¹ 、Juichiro Ashi ¹ 、Jin-Oh Park ¹ 、Tomoko Hanyu ² 、Ayanori Misawa ³ 、Gou Fujie ⁴ 、Seishiro Furuyama ⁵ 、Mayu Ogawa ⁶ 、Keita Suzuki ⁶ 、Akie Suzuki ⁶ 、Waka Komatsu ⁶ (¹ Univ. of Tokyo、 ² Kobe Univ.、 ³ Geological Survey of Japan、 ⁴ JAMSTEC、 ⁵ Tokyo Univ. of Marine Science and Tech.、 ⁶ Nippon Marine Enterprises)	11:15 S17-08 位相補正手法を用いた高精度分散関係に基づく短周期津波の数値計算 *三反畑 修 ^{1,2} 、綿田辰吾 ¹ 、何 東政 ¹ 、佐竹健治 ¹ (¹ 京大防災研究所、 ² 京大大学院理学系研究科)	11:15 S23-06 火山分野におけるデータ共有の仕組み作り *上田英樹、山田大志、松澤孝紀、三輪学央、長井雅史(防災科学技術研究所)
11:30 S08-04 Comparison of Source Location Methods: CCF-based SSA and ASL *Theodoros Permana、Takeshi Nishimura、Hisashi Nakahara(Tohoku Univ.)	11:30 S06-07 日本海溝アウトライズ地震断層マッピング *小平秀一、中村恭之、藤江 剛、尾島浩一郎、三浦誠一(JAMSTEC、海域地震学研究所)	11:30 S17-09 沿岸検潮所での津波観測値と数値計算結果の比較による海底面粗度係数の推定 津波減衰の精度向上に向けて *南 雅晃(JAMSTEC、気象庁気象研究所)	11:30 S23-07 地震に関連する地下水観測データベース"Well Web"の紹介 *松本則夫(産業技術総合研究所 地質調査総合センター)
11:45 S08-05 大小の地震の始まりが全く同じということは意外によくある *井出 哲(京大大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)	11:45 S06-08 堆積層基盤PS変換後にもとづくS-net観測点下の堆積層厚さ分布 *東 龍介、高木涼太、豊国源知、中山貴史、鈴木秀市、佐藤真樹子、内田直希、日野亮太(東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)	12:00 S17-11 津波堆積物等に基づく津波確率評価の試み *根本 信 ¹ 、横田 崇 ² (¹ 応用地質株式会社、 ² 愛知工業大学)	12:00 S23-09 「スロー地震データベース」の取り組み *松澤孝紀 ¹ 、加納将行 ² 、田中優作 ³ 、麻生尚文 ⁴ 、井出 哲 ³ 、小原一成 ³ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東北大学、 ³ 東京大学、 ⁴ 京大工業大学)

A会場 (百周年記念ホール) 午後 S08.地震発生の物理 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	B会場 (国際科学イノベーション棟シンポジウムホール) 午後 S06.地殻構造 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	C会場 (総合研究8号館NSホール) 午後 S24.2019年6月18日山形県沖の地震 S04.テクトニクス 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	D会場 (時計台国際交流ホール1) 午後 S23.オープンデータと地震学 S07.地球及び惑星の深部構造と物性 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)
座長 北 佐枝子・矢部 優・鈴木岳人・麻生尚文	座長 石山達也・利根川貴志・小松正直	座長 篠原雅尚・宮岡一樹・佐藤比呂志・野津 厚・内田直希	座長 加納靖之・汐見勝彦・鶴岡 弘・森重 学
13:30 S08-06 Enhanced dynamic triggering of a shallow slow slip event in the Nankai subduction zone due to the overlying sedimentary wedge *片上智史 ¹ 、Kaneko Yoshihiro ² 、伊藤喜宏 ¹ (¹ 京大防災研究所、 ² GNS Science, NZ)	13:30 S06-10 Receiver function imaging of the subducting Pacific plate beneath NE Japan using offshore and on land seismic arrays *Hye-Jeong Kim ¹ 、Hitoshi Kawakatsu ¹ 、Takeshi Akuhara ¹ 、Masanao Shinohara ¹ 、Ryota Takagi ² (¹ Earthquake Research Institute, The University of Tokyo、 ² Graduate School of Science, Tohoku University)	13:30 S24-01 2019年山形県沖の地震活動(概報) *宮岡一樹 ¹ 、武田清史 ¹ 、石垣祐三 ¹ 、中村浩二 ¹ 、原田智史 ¹ 、草野富二雄 ² 、浜田信生 ¹ (¹ 気象庁、 ² 環境防災総合政策研究機構)	13:30 S23-10 JAMSTECにおける地殻構造探査データのアーカイブと公開 *野 徹雄 ¹ 、中西理子 ¹ 、瀧澤 薫 ² 、海宝由佳 ¹ 、中村恭之 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、三浦誠一 ¹ 、尾島浩一郎 ¹ 、小平秀一 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 日本海洋事業)
13:45 S08-07 南海トラフ浅部低周波微動のScaled energy推定 *矢部 優 ¹ 、利根川貴志 ² 、中野 優 ² (¹ 産業技術総合研究所、 ² 海洋研究開発機構)	13:45 S06-11 いわき地域における地殻内反射面と地震活動 *飯島 隆、酒井慎一 ¹ 、五十嵐俊博 ¹ 、小原一成 ¹ 、加藤愛太郎 ¹ 、武田哲也 ² 、中川茂樹 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研究所)	13:45 S24-02 2019年山形県沖 M6.7地震の余震の詳細な震源分布とその時空間発展 *吉田圭佑、平原 聡、中山貴史、内田直希、岡田知己、松澤 暢(東北大学 理学研究科附属 地震・噴火予知研究観測センター)	13:45 S23-11 海洋研究開発機構におけるデータ・サンプル管理公開の取り組み *坪井誠司、齊藤千鶴、福田和代(海洋研究開発機構)
14:00 S08-08 脈動帯域におけるスロー地震信号 *増田潤己 ¹ 、井出 哲 ¹ 、太田和晃 ² 、松澤孝紀 ³ (¹ 京大大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 京大防災研究所、 ³ 国立研究開発法人防災科学技術研究所)	14:00 S06-12 茨城県沖日本海溝沿いの地殻構造不均質 *望月公廣 ¹ 、山田知朗 ¹ 、篠原雅尚 ¹ 、日野亮太 ² 、東 龍介 ² 、伊藤喜宏 ³ 、村井芳夫 ⁴ 、植平賢司 ⁵ 、佐藤利典 ⁶ (¹ 京大防災研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科、 ³ 京大防災研究所、 ⁴ 北海道大学理学部、 ⁵ 防災科学技術研究所、 ⁶ 千葉大学大学院理学研究院)	14:00 S24-03 地震活動履歴と地殻変動からみた山形県沖地震 *河内一男(新潟薬科大学)	14:00 S23-12 A review of data management for polar sciences in Japan *Masaki Kanao (Research Organization of Information and Systems)
14:15 S08-09 内陸における浅部低周波地震の検出とその時空間分布 *中島淳一 ¹ 、長谷川 昭 ² (¹ 東京工業大学理学部地球惑星科学系、 ² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)	14:15 S06-13 近畿地域の震源断層モデル *石山達也 ¹ 、佐藤比呂志 ² 、加藤直子 ¹ 、松原 誠 ² 、Yano Tomoko Elizabeth ² 、阿部 進 ³ 、東中正倫 ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研究所、 ³ (株)地球科学総合研究所)	14:15 S24-04 陸上臨時地震観測で見た2019年山形県沖の地震 *岡田知己 ¹ 、酒井慎一 ² 、吉田圭佑 ¹ 、内田直希 ¹ 、中山貴史 ¹ 、平原 聡 ¹ 、松澤 暢 ¹ 、日野亮太 ¹ 、篠原雅尚 ² 、Sibson Richard ³ (¹ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 ² 東京大学地震研究所、 ³ オタゴ大学)	14:15 S23-13 地震カタログデータの利活用に関して *鶴岡 弘(京大防災研究所)
14:30 S08-10 蔵王・岩手山・折付で発生する深部低周波地震のメカニズム *及川元己、麻生尚文、中島淳一(東京工業大学)	14:30 S06-14 近畿地方中北部の下部地殻における断層帯深部の地震学的構造 *加藤慎也 ¹ 、飯尾能久 ² 、澁谷拓郎 ² 、片尾 浩 ² 、澤田麻沙代 ² 、富阪和秀 ² (¹ 京大大学院理学研究科、 ² 京大防災研究所)	14:30 S24-05 浅海用保留ブイ方式海底地震計による2019年山形県沖の地震の余震観測 *篠原雅尚 ¹ 、酒井慎一 ¹ 、栗原 岳 ¹ 、望月公広 ¹ 、日野亮太 ² 、山下裕亮 ³ 、佐藤比呂志 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東北大学 地震・噴火予知研究観測センター、 ³ 京大防災研究所)	14:30 S23-14 モバイル端末アプリを利用した非専門家によるデータ利用 *江本賢太郎(東北大学大学院理学研究科)
14:45 S08-11 Interactions between the intraslab earthquakes and episodic slow slips beneath Kii Peninsula controlled by fluid migration *北 佐枝子 ¹ 、Houston Heidi ² 、田中佐千子 ³ 、浅野陽一 ³ 、澁谷拓郎 ⁴ 、須田直樹 ⁵ (¹ 建築研究所、 ² 南カリフォルニア大学、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 京大防災研究所、 ⁵ 広島大学)	14:45 S06-15 稠密余震観測データを用いて推定した2016年鳥取県中部地震(M6.6)震源域の詳細な地震波速度構造 *津田寛大 ¹ 、飯尾能久 ² 、松本 聡 ³ 、酒井慎一 ⁴ (¹ 京大大学院理学研究科、 ² 京大防災研究所、 ³ 九州大学地震火山観測研究センター、 ⁴ 東京大学地震研究所)	14:45 S24-06 活動期にある日本海東縁プレート境界 *石川有三(産総研)	14:45 S23-15 すべての公開データは(怪しい)地震予知に用いられる *加藤 護(京大人間・環境学研究科)
15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩
15:15 S08-12 スティック・スリップ実験のすべり量を支配する慣性項 *大庭伸一 ¹ 、三井雄太 ² (¹ 静岡大学総合科学技術研究科、 ² 静岡大学理学部)	15:15 S06-16 OBS構造探査データの波形インバージョン解析の有効性:南海トラフ・伊豆前弧域データへの適用例 *藤江 剛 ¹ 、佐藤 壮 ² 、白石和也 ¹ 、小平秀一 ¹ 、浅川栄一 ³ 、新部貴夫 ⁴ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 気象庁・札幌管区気象台、 ³ 地球科学総合研究所、 ⁴ 石油資源開発株式会社)	15:15 S24-07 2019年山形県沖地震震源域周辺の地殻構造の特徴 *佐藤比呂志 ¹ 、石山達也 ¹ 、篠原雅尚 ¹ 、酒井慎一 ¹ 、橋間昭徳 ¹ 、野 徹雄 ² 、小平秀一 ² 、佐藤 壮 ³ 、松原 誠 ⁴ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 気象庁札幌管区気象台、 ⁴ 防災科学技術研究所)	15:15 S23-16 日本の高校生によるアナログ地震計記録のデジタル化への取り組み *石井水晶 ¹ 、盛永俊弘 ^{2,3} (¹ Department of Earth & Planetary Sciences, Harvard University、 ² 学校改革フォーラム、 ³ 京大大学院教育学研究科)
15:30 S08-13 破壊伝播速度のパラドックス *福山英一 ^{1,2} 、徐 世慶 ¹ 、山下 太 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 京大大学院工学研究科)	15:30 S06-17 「ちきゅう」掘削中の海底常時振動記録を用いた南海トラフ付加体の地震波速度構造モニタリング *利根川貴志 ¹ 、木村俊則 ¹ 、白石和也 ¹ 、荒木英一郎 ¹ 、木下正高 ² 、真田佳典 ¹ 、三浦誠一 ¹ 、中村恭之 ¹ 、小平秀一 ¹ (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所)	15:30 S24-08 2019年山形県沖地震と1964年新潟地震の関係性 *上田 拓、山谷奈奈、加藤愛太郎(東京大学地震研究所)	15:30 S23-17 オープンデータと歴史地震・歴史記録 *加納靖之 ^{1,2} (¹ 京大防災研究所、 ² 京大防災火山史料連携研究機構)
15:45 S08-14 多孔質媒質中での渦粘性の時間発展の理解とその地震学的意義 *鈴木岳人(青山学院大学)	15:45 S06-18 Underthrust turbidite facies affecting variation in interplate coupling along the Nankai subduction zone *朴 進午 ¹ 、鶴 哲郎 ² (¹ 東京大学 大気海洋研究所、 ² 東京海洋大学)	15:45 S24-09 2019年6月18日山形県沖の地震により越後平野で観測された長周期地震動 *植竹富一 ¹ 、引間和人 ¹ 、関根秀太郎 ² (¹ 東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所、 ² (公財)地震予知総合研究振興会)	15:45 総論

16:00 S08-15	Numerical simulation of earthquake sequence on rough faults *小澤 創 ¹ 、ダンナム エリク ² (¹ 東京大学、 ² スタンフォード大学)	16:00 S06-19	南海トラフ熊野灘における三次元詳細地殻構造と浅部低周波地震の関係 *白石和也 ¹ 、山田泰広 ¹ 、中野 優 ¹ 、木下正高 ² 、木村 学 ³ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 東京海洋大学)	16:00 S24-10	2019年6月18日山形県沖の地震(M _{6.7})の震源断層の破壊過程の推定 - 経験的グリーン関数による波形インバージョン *津野 厚(港湾空港技術研究所)	16:00 S07-01	多重ScS波解析によるオントンジャフ海台マントルのS波速度と減衰の推定 *末次大輔 ¹ 、塩原 肇 ² 、杉岡裕子 ³ 、伊藤亜妃 ¹ 、一瀬建日 ² 、石原 靖 ¹ 、田中 聡 ¹ 、大林政行 ¹ 、利根川貴志 ¹ 、吉光淳子 ¹ 、小林拓史 ³ (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 神戸大学大学院理学研究科)
16:15 S08-16	動的応力変動および静的応力変動による地震のトリガー *吉田真吾 ¹ 、前田拓人 ² 、加藤愛太郎 ¹ (¹ 東大地震研、 ² 弘前大学理工学研究科)	16:15 S06-20	リチウム同位体を用いた四国中央構造線付近の湧水中のスラブ起源流体の検出 *西尾嘉朗、藤内智士、井口 優、中村笑佳(高知大学)	16:15 S24-11	2019年6月18日山形県沖の地震前後の地震震に関する「つぶやき」から考えるツイッターユーザーの科学リテラシー *織原義明(東海大学海洋研究所)	16:15 S07-02	オントンジャフ海台の上部マントルS波速度構造 *一瀬建日 ¹ 、末次大輔 ² 、塩原 肇 ¹ 、杉岡裕子 ³ 、伊藤亜妃 ² 、石川 晃 ⁴ 、川野由貴 ¹ 、吉澤和範 ⁵ 、石原 靖 ² 、田中 聡 ² 、大林政行 ² 、利根川貴志 ² 、吉光淳子 ² 、小林拓史 ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 神戸大学、 ⁴ 東京工業大学、 ⁵ 北海道大学)
16:30 S08-17	Rupture simulation in a temporally stochastic stress field *麻生尚文 ¹ 、安藤亮輔 ² 、井出 哲 ² (¹ 東京工業大学、 ² 東京大学)	16:30 S06-21	人工地震探査による南九州横断線下の速度構造(4) *宮町宏樹 ¹ 、小林勘司 ¹ 、八木原 寛 ¹ 、平野舟一郎 ¹ 、久保武史 ¹ 、海野直弘 ¹ 、松島 健 ² 、内田和也 ² 、宮町康太郎 ² 、片尾 浩 ³ 、造谷拓郎 ³ 、三浦 勉 ³ 、中川 翔 ³ 、米田 格 ³ 、為栗 健 ³ 、瀧下恒星 ³ 、仲井一穂 ³ 、山下裕亮 ³ 、前田裕太 ⁴ 、堀川信一郎 ⁴ 、松廣健二郎 ⁴ 、奥田 隆 ⁴ 、辻 修平 ⁴ 、十川直樹 ⁴ 、中東和夫 ⁵ 、蔵下英司 ⁶ 、山田知朗 ⁶ 、安藤美和子 ⁶ 、田中伸一 ⁶ 、地澤賢志 ⁶ 、佐藤利典 ⁷ 、山本 希 ⁸ 、平原 聡 ⁸ 、中山貴史 ⁸ 、東 龍介 ⁸ 、鈴木秀市 ⁸ 、筒井智樹 ⁹ 、竹井瑠一 ⁹ 、多田悠也 ⁹ 、高橋浩晃 ¹⁰ 、青山 裕 ¹⁰ 、大園真子 ¹⁰ 、推名高裕 ¹⁰ 、高田真秀 ¹⁰ 、一柳昌義 ¹⁰ 、山口照寛 ¹⁰ 、伊藤ちひろ ¹⁰ 、薄田悠樹 ¹⁰ 、村井芳夫 ¹⁰ 、中垣達也 ¹⁰ (¹ 鹿児島大学、 ² 九州大学、 ³ 京都大学、 ⁴ 名古屋大学、 ⁵ 東京海洋大学、 ⁶ 東京大学、 ⁷ 千葉大学、 ⁸ 東北大学、 ⁹ 秋田大学、 ¹⁰ 北海道大学)	16:30 S04-01	南海トラフ地震発生帯掘削計画(IODP 358 次航海)におけるプレート境界断層に向けた超深度ライザー掘削:達成と今後 *木下正高 ¹ 、木村 学 ² 、廣瀬文洋 ³ 、山口飛鳥 ³ 、金川 久一 ⁴ 、Tobin Harold ⁵ 、Ikari Matt ⁶ 、北島弘子 ⁷ 、Saffer Demian ⁸ 、前田玲奈 ⁹ 、Toczko Sean ⁹ 、江口暢久 ⁹ 、第358次航海乗船研究者 TOP (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京海洋大学、 ³ 東京大学大気海洋研究所、 ⁴ 千葉大学、 ⁵ ワシントン大学、 ⁶ ブレイメン大学、 ⁷ テキサスA&M大学、 ⁸ ペンシルバニア州立大学、 ⁹ JAMSTEC)	16:30 S07-03	グリーンランドにおけるP波走時トモグラフィ *松野貴也、豊国源知、趙 大鵬(東北大学 地震噴火予知研究観測センター)
		16:45 S06-22	南西諸島におけるP波・S波減衰構造 *小松正直、竹中博士(岡山大学大学院自然科学研究科)	16:45 S04-02	琉球海溝におけるフィリピン海プレートの沈み込みに伴う3次元温度構造モデリング *末永伸明 ¹ 、吉岡祥一 ² 、李 穎鋒 ^{3,4} (¹ 神戸大学 大学院理学研究科 惑星学専攻、 ² 神戸大学 都市安全研究センター、 ³ 中国科学院チベット高原地球科学卓越センター、 ⁴ 中国科学院チベット高原研究所大陸衝突・高原隆起研究室)	16:45 S07-04	マルチモード表面波による上部マントル異方的構造の推定:オーストラリア周辺域への応用 *西村祐香 ¹ 、吉澤和範 ^{1,2} (¹ 北海道大学大学院理学院、 ² 北海道大学大学院理学研究院)

ポスター発表 9月17日(火)17:00~18:30 ポスター会場(百周年時計台記念館 国際交流ホールII・III) S04, S06, S07, S16, S17, S23, S24

S04.テクトニクス	S07.地球及び惑星の深部構造と物性	S17.津波	
S04P-01	S-net により推定された前弧上盤の海溝平行の速度異方性 *内田直希 ¹ 、中島淳一 ² 、高木涼太 ¹ 、吉田圭佑 ¹ 、日野亮太 ¹ 、岡田知己 ¹ 、浅野陽一 ³ 、田中佐千子 ³ (¹ 北海道大学 理学研究科、 ² 東京工業大学 理学院、 ³ 防災科学技術研究所)	S17P-01	2018年インドネシア・パル津波の複数の種類の津波記録から推定された海底地すべり源 *中田健嗣 ¹ 、勝間田明男 ¹ 、Muhari Abdul ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² インドネシア海洋水産省)
S04P-02	南東太平洋の海溝付近における海洋プレートの屈曲によって生じる断層地形 *小笠原 乃 ¹ 、中西正男 ² (¹ 千葉大学大学院融合工学部地球環境科学専攻、 ² 千葉大学大学院理学研究科)	S17P-02	南海トラフ巨大地震検討に向けた1854年安政東海地震の津波解析 *宇野花蓮 ¹ 、谷岡勇市郎 ¹ 、山中悠資 ² (¹ 北海道大学地震火山研究観測センター、 ² 東京大学社会基盤学専攻)
S04P-03	GISを用いた沈み込む海洋プレート形状解析手法の検討 *塚本勇樹 ^{1,2} 、岡田真介 ³ 、住田達哉 ² 、川畑大作 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² 産業技術総合研究所、 ³ 東北大学災害科学国際研究所)	S17P-03	理論津波波形を用いた断層すべり分布のインバージョンの検討 *中村嘉孝 ¹ 、吉岡祥一 ² 、馬場俊孝 ³ (¹ 神戸大学 大学院 理学研究科 惑星学専攻、 ² 神戸大学 都市安全研究センター、 ³ 徳島大学 大学院社会産業理工学部 社会基盤デザイン系)
S06.地殻構造			
S06P-01	オントンジャフ海台における地震波アレイベンチ:地震波干渉法による予備的解析 *川野由貴 ¹ 、一瀬建日 ¹ 、竹尾明子 ¹ 、川勝 均 ¹ 、末次大輔 ² 、塩原 肇 ¹ 、杉岡裕子 ³ 、伊藤亜妃 ² 、石原 靖 ² 、田中 聡 ² 、大林政行 ² 、利根川貴志 ² 、吉光淳子 ² 、小林拓史 ³ (¹ 東京大学 地震研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 神戸大学理学研究科 惑星学専攻)	S17P-04	日本近海に設置された海底圧力計が捉えた2010年チリ地震に伴う地震レイリー波と津波の群速度分散 *久保田達矢、齊藤竜彦、近真直孝、鈴木 亘(防災科研) DONET水圧計記録のアレイ解析による津波位相速度の計測 *水谷 蓬 ¹ 、蓮田 清 ² (¹ 北海道大学大学院理学院、 ² 北海道大学大学院理学研究院)
S06P-02	2015年ネパール・ゴルカ地震(M _w 7.8) 震源域東部における余震分布と地殻構造 *蔵下英司 ¹ 、佐藤比呂志 ¹ 、酒井慎一 ¹ 、平田直 ¹ 、Gajurel Ananta ² 、Adhikari Danda ² 、Upadhyaya Bala ² 、Upreti Bishal ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² トリバンダー、 ³ ネパール科学技術院)	S17P-05	MT/CMT解を用いた東日本太平洋沿岸域の津波予測 *豊田晶大 ¹ 、河原 純 ¹ 、齊藤竜彦 ² (¹ 茨城大学大学院理工学研究科、 ² 防災科学技術研究所)
S06P-03	LAYERED CRUSTAL AND UPPER MANTLE STRUCTURE BENEATH BOTSWANA *Admore Mpuang, Takuo Shibutani (Kyoto University, Disaster Prevention Research Institute, Research Center for Earthquake Prediction)	S17P-06	北太平洋を波源とする遠地津波振幅の時間推移 *山本剛晴(気象庁気象研究所)
S06P-04	昭和和山新山構造推定のための稠密地震観測と初期解析結果 *竹尾明子 ¹ 、西田 究 ¹ 、青木陽介 ¹ 、青山 裕 ² 、石瀬素子 ¹ 、前田拓人 ³ 、水谷雄太 ¹ 、甲斐建 ¹ 、中島悠貴 ¹ 、長原翔伍 ¹ 、栗原 亮 ¹ 、Ye Lingling ⁴ 、Wang Xiaowen ⁵ 、悪原 岳 ¹ (¹ 東京大学、 ² 北海道大学、 ³ 弘前大学、 ⁴ 中山大学、 ⁵ 西南交通大学)	S17P-07	岩手県山田町における1896年明治三陸地震津波の人的被害 *行谷祐一 ¹ 、巖名裕一 ² 、今井健太郎 ² (¹ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、 ² 東北大学 災害科学国際研究所、 ³ 海洋研究開発機構)
S06P-05	地震波干渉法により推定した津軽平野とその周辺における表面波群速度 *石田早祐美、前田拓人、小菅正裕(弘前大学大学院理工学研究科)	S17P-08	北海道霧多布温泉における13世紀および17世紀頃の海岸地形復元と津波堆積物調査 *伊尾木圭衣 ¹ 、澤井祐紀 ¹ 、行谷祐一 ¹ 、谷川晃一郎 ¹ 、松本 弾 ¹ 、中村淳路 ¹ 、嶋田信真 ^{1,2} (¹ 産業技術総合研究所地質調査総合センター、 ² 筑波大学)
S06P-06	スラブ内地震で観測される高周波後続波と東北日本下のS波減衰構造 *推名高裕 ¹ 、勝俣 啓 ² 、蓮田 清 ³ 、加藤愛太郎 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ³ 北海道大学大学院理学研究院)	S17P-09	日本海東縁部の北海道沖・東北沖で20世紀に発生した地震の津波断層モデルの検証 *室谷智子 ¹ 、佐竹健治 ² 、石辺岳男 ³ (¹ 国立科学博物館、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 地震予知総合研究振興会)
S06P-07	Validation of the method to estimate the crustal thickness using the cross-correlations of broad-band seismic ambient noise *Masyitha Retno Budiatni, Genti Toyokuni, Tomomi Okada, Toru Matsuzawa (¹ Research Center for Prediction of Earthquakes and Volcanic Eruptions, Graduate School of Science, Tohoku University)	S17P-10	津波シナリオ作成のためのランダム不均質断層すべり分布の導入 *中野 優 ¹ 、Murphy Shane ² 、縣 亮一郎 ³ 、五十嵐康彦 ³ 、岡田真人 ³ 、堀 高峰 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² fremer, France、 ³ 東京大学新領域創成科学研究科)
S06P-08	地震波干渉法を用いた浅間山の3次元V _{sv} 、V _{sh} 構造の推定 *長岡 優 ¹ 、西田 究 ² 、青木陽介 ² 、武尾 実 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 東京大学地震研究所)	S23.オープンデータと地震学	
S06P-09	地震波干渉法による次域沖領域の構造推定 *山谷里奈 ¹ 、望月公廣 ¹ 、悪原 岳 ¹ 、市村 強 ¹ 、藤田航平 ¹ 、山口拓真 ¹ 、堀 高峰 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構)	S23P-01	震源カタログの時間空間非均質性のベイズ的モデリングと可視化 *尾形良彦(統計数理研究所)
S06P-10	Configuration and structure of the Philippine Sea plate off Boso, Japan *伊藤亜妃 ¹ 、利根川貴志 ¹ 、内田直希 ² 、山本揚二郎 ¹ 、末次大輔 ¹ 、日野亮太 ² 、杉岡裕子 ³ 、尾島浩一郎 ⁴ 、中東和夫 ⁴ 、篠原雅尚 ⁵ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東北大学、 ³ 神戸大学、 ⁴ 東京海洋大学、 ⁵ 東京大学)	S23P-02	気象庁一元化震源の品質向上への最近の取り組み *岩切一宏、横山博文、上田満治、岩崎友理子、長谷部大輔、上野 寛(気象庁)
S06P-11	神奈川県とその周辺におけるフィリピン海プレートまたはスラブのモホ面の探索 *安部祐希、本多 亮、行竹洋平(神奈川県温泉地学研究所)	S23P-03	地殻変動データベースによるデータ一元化流通公開と課題 *山口照寛、高橋浩晃(北海道大学大学院理学研究院附属地震火山センター)
S06P-12	地質構造を考慮した関東地方の地震波異方性速度構造の解釈 *石瀬素子、酒井慎一、加藤愛太郎(東京大学地震研究所)	S23P-04	海域地震観測データのアーカイブと公開システムの開発 *石原 靖、Kim Taewoon、尾島浩一郎、中島倫也、伊藤亜妃(海洋研究開発機構)
S06P-13	反射法地震探査による横須賀断層北端付近の地下構造 *伊藤 忍 ¹ 、竜沢篤 ¹ 、助 ² (¹ 国立研究開発法人産業技術総合研究所、 ² 早稲田大学大学院創造理工学研究科地球・環境資源理工学専攻)	S24.2019年6月18日山形県沖の地震 ※3日間通して掲示	
S06P-14	箱根火山の3次元地震波減衰構造とマグマ供給系 *柏木広和 ¹ 、中島淳一 ¹ 、行竹洋平 ² (¹ 東京工業大学、 ² 神奈川県温泉地学研究所)	S24P-01	AN-net でとらえた2019年6月10日の山形県沖の地震 *関根秀太郎、阿部信太郎、笠原敬司、田澤芳博(公益財団法人 地震予知総合研究振興会)
S06P-15	地震・津波ハザード評価のための南海トラフ周辺海域における3次元速度構造モデルの構築 *勝山美奈子 ¹ 、仲西理子 ¹ 、高橋成実 ^{1,2} 、新井 麗 ¹ 、鎌田弘己 ¹ 、金田義行 ^{1,2,3} (¹ 国立研究開発機構海洋研究開発機構、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ³ 香川大学)	S24P-02	2019年6月18日山形県沖の地震震源域付近の地殻構造 *野 徹雄 ¹ 、小平秀一 ¹ 、佐藤比呂志 ² 、佐藤 壮 ³ 、三浦 亮 ¹ 、下村典生 ⁴ 、藤江 剛 ¹ 、尾島浩一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 気象庁札幌管区気象台、 ⁴ 日本海洋事業)
S06P-16	紀伊半島西部沖南海トラフにおける反射法地震探査 *中村恭之、小平秀一、野 徹雄、海宝由佳、藤江 剛、三浦誠一、白石和也(海洋研究開発機構)	S24P-03	2019年山形県沖地震の震源域周辺のトモグラフィ *片山 悠、趙 大鵬、豊国源知(東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)
S06P-17	深発地震波形を用いた広帯域レシーバ関数解析による西南日本下のフィリピン海プレート境界の地震学的構造推定 *佐藤泰典 ¹ 、伊藤喜宏 ² 、太田和晃 ² 、造谷拓郎 ² 、若田知孝 ² (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所)	S24P-04	震源断層モデル推定の不確実性リアルタイム評価手法の開発 - 2019年山形県沖の地震への適用 - *大野圭太郎 ¹ 、太田雄策 ² 、阿部 聡 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 ² 国土交通省国土地理院)
S06P-18	四国下に沈み込むフィリピン海プレートのレシーバ関数イメージング *造谷拓郎(京都大学防災研究所)	S24P-05	2019年6月18日山形県沖の地震(M _w 6.4)に伴う地殻変動と震源断層モデル *小林知勝、矢来博司、黒石裕樹、本田昌樹(国土地理院)
S06P-19	四国におけるモホ面の特徴と深部低周波地震活動 *汐見勝彦、武田哲也、上野友岳(防災科学技術研究所)	S24P-06	地震と測地データから推定した2019年山形県沖の地震の震源過程 *小林広明 ¹ 、元木健太郎 ¹ 、藤岡一朗 ² (¹ 小堀鐸二研究所、 ² 東京大学地震研究所)
S06P-20	地震波干渉法に基づく九州地方のKiK-net観測点における地表付近のS波速度の異方性 *元木健太郎、加藤研一(小堀鐸二研究所)	S24P-07	2019年6月18日山形県沖の地震(M _f 6.7)の震源過程解析 *引間和人(東京電力ホールディングス(株))
		S24P-08	強震波形記録を用いて推定された2019年6月18日山形県沖の地震の震源過程 *久保久彦 ¹ 、鈴木 亘 ¹ 、青井 真 ¹ 、関口春子 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 京都大学防災研究所)
		S24P-09	強震動波形を用いた震源インバージョン解析による2019年山形県沖の地震(M _w 6.4)の震源破壊過程 *倉橋 梨 ¹ 、宮腰 研 ² 、入倉孝次郎 ¹ (¹ 愛知工業大学、 ² 地域地盤環境研究所)
		S24P-10	経験的グリーン関数法による2019年山形県沖の地震の地震動シミュレーションと強震動生成域の推定 *柴井一寛、宮腰 研、雨佳(一般財団法人地域地盤環境研究所)
		S24P-11	ソース・イメージング法を用いた2019年山形県沖の地震における初期段階の破壊過程の推定 *藤本 伶、小割啓史、小松正直、竹中博士(岡山大学大学院自然科学研究科)
		S24P-12	スペクトルインバージョンに基づく2019年山形県沖の地震に関する震源およびサイト特性の評価 *仲野健一 ¹ 、川瀬 博 ² (¹ 安藤ハザマ、 ² 京都大学)

9月18日(水) 口頭発表

A会場 (百周年記念ホール) 午前 S21.長周期地震動 —その生成から構造物の応答、社会の対応まで— 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 招待講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 青井 真・岡本國徳・久田嘉章・木村武志	B会場 (国際科学イノベーション棟シンポジウムホール) 午前 S08.地震発生の物理 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 山田卓司・吉光奈奈・寺川寿子・吉田圭佑	C会場 (総合研究8号館NSホール) 午前 S22.地震学における機械学習の可能性 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 招待講演 (講演時間25分・質疑応答5分) 座長 内出崇彦・久保久彦・小寺 祐貴	D会場 (時計台国際交流ホールI) 午前 S10.活断層・歴史地震 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 今井健太郎・平井 敬・榎原京子・鶴 哲郎
9:15 S21-01# 長周期地震動と地震工学 *福和伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター) 9:30 S21-02 海溝型地震による長周期地震動のハザードリスク評価 *前田宜浩,岩城麻子,森川信之,青井 真,藤原広行 (防災科学技術研究所) 9:45 S21-03 地殻地震の地表断層近傍における長周期地震動の評価方法 *入倉孝次郎 ¹ ,倉橋 奨 ¹ ,松元康広 ² (1愛知工業大学、2(株)構造計画研究所) 10:00 S21-04 データ同化に基づく南海トラフの地震の長周期地震動即時予測—海域観測点のサイト増幅の影響 *大峽充己 ¹ ,古村孝志 ¹ ,前田拓人 ² (1東京大学地震研究所、2弘前大学大学院理工学研究所) 10:15 S21-05# 気象庁の長周期地震動への取り組みと今後について *中村雅基 (気象庁)	9:15 S08-18 放射パターンを考慮した経験的グリーン関数を用いた震源過程解析 *柴田律也 ¹ ,及川元己 ¹ ,麻生尚文 ¹ ,中島淳一 ¹ ,井出 哲 ² (1東京工業大学理学院地球惑星科学系、2東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻) 9:30 S08-19 Source mechanism and triggering process for the April 12th and 13th 2014 earthquake doublet in Solomon Islands *Calvin Luiramo Qwana ¹ , Masatoshi Miyazawa ² , James Jiro Mori ² (1Graduate School Science Kyoto University, 2Disaster Prevention Research Institute Kyoto University) 9:45 S08-20 Evaluation of source parameters in the Bayesian framework by Markov Chain Monte Carlo method *吉光奈奈 ¹ ,前田拓人 ² ,清 智也 ³ (1東京大学地震研究所、2弘前大学、3東京大学情報理工学)	9:15 S22-01# 機械学習に基づくデータ駆動型異常検知～風力発電スマートメンテナンスの取り組み～ *緒方 淳 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター) 9:45 S22-02 潜在的スパース性を活用した変化検知に基づく地震波自動検出 *黒田大貴 ¹ ,緒方 淳 ¹ ,坂無英徳 ¹ ,内出崇彦 ² (1産業技術総合研究所 人工知能研究センター、2産業技術総合研究所 地質調査総合センター) 10:00 S22-03 深層学習によるP波初動検出と決定プロセスの可視化 *原 将太 ¹ ,深畑幸俊 ² ,飯尾能久 ² (1京大大学院理学研究科、2京都大学防災研究所) 10:15 S22-04 複数観測点連続地震波形への畳み込みニューラルネットワークの適用 *矢野恵佑 ¹ ,椎名高裕 ² ,倉田澄人 ¹ ,加藤愛太郎 ² ,駒木文保 ¹ ,酒井慎一 ² ,平田 直 ² (1東京大学情報理工学研究所、2東京大学地震研究所)	9:15 S10-01 日記史料を用いた歴史地震活動データベースの構築 *西山昭仁 ^{1,2} ,榎原雅治 ^{3,2} ,水野 嶺 ^{1,2} ,吉岡誠也 ^{1,2} ,片桐昭彦 ⁴ ,大石裕介 ^{5,1} (1東京大学地震研究所、2東京大学地震火山史料連携研究機構、3東京大学史料編纂所、4新潟大学人文学部、5富士通研究所) 9:30 S10-02 かわら版に見る安政東海・南海地震 —防災専門図書館所蔵のものを中心に— *平井 敬 (名古屋大学大学院環境学研究所) 9:45 S10-03 安政元年(1854年)東海地震の震源再考 *今井健太郎 ¹ ,堀 高峰 ¹ ,高橋成実 ^{1,2} ,大林涼子 ¹ ,楠本聡 ¹ ,古村孝志 ³ (1国立研究開発法人海洋研究開発機構、2国立研究開発法人防災科学技術研究所、3東京大学地震研究所) 10:00 S10-04 弾塑性力学に基づく正断層群の形成に関する数値シミュレーション *山田英司 ¹ ,野田利弘 ² ,中井健太郎 ² ,浅岡 顕 ³ (1中部電力(株)、2名古屋大学、3地震予知総合研究振興会) 10:15 S10-05 不確定な活動時期をもつ繰り返し地震群に対するベイズ推論 *野村俊一 ¹ ,尾形良彦 (統計数理研究所)
10:30 休憩 10:45 S21-06 長周期地震動の即時予測の実用化に向けて *青井 真 ¹ ,木村武志 ¹ ,功刀 卓 ¹ ,鈴木 亘 ¹ ,Dhakal Yadab ¹ ,古謝植之 ² (1防災科学技術研究所、2気象庁地震火山部) 11:00 S21-07 リアルタイムスロッシング評価システムが捉えた長周期地震動 *大保直人 ¹ ,高田史俊 ² (1地震予知総合研究振興会、2エイシシステム株式会社) 11:15 S21-08 長周期地震動を考慮した超高層建築の応答・被害予測と対応支援システムの開発 *久田嘉章 ¹ ,村上正浩 ¹ ,栗山 章 ² ,松本 唯 ² ,宮内佑也 ² (1工科大学、2アールシーソリューション株式会社) 11:30 S21-09 近年発生した大地震時の強震記録に基づく国内の超高層集合住宅を対象とした広域的な非線形地震応答推定 *村田将一 ¹ ,王 欣 ² ,永野正行 ³ (1東京理科大学大学院理工学研究所建築学専攻、2東京理科大学理工学部建築学専攻、3東京理科大学理工学部建築学専攻) 11:45 S21-10# 長周期地震動情報をテレビで伝える悩み *谷原和憲 (日本テレビ放送網)	10:30 休憩 10:45 S08-23 Stress release process along a crustal fault during the foreshock-mainshock-aftershock sequence of the 2017 M5.2 Akita-Daisen earthquake *吉田圭佑 ¹ ,齊藤竜彦 ² ,平 貴昭 ³ ,江本賢太郎 ¹ ,松澤 暢 ¹ (1東北大学、2防災科学技術研究所、3米国立カリフォルニア大学バークレー校) 11:00 S08-24 3次元不均質構造モデルを用いた2016年大分県由布の誘発地震の余震のCMTインバージョン *小割啓史 ¹ ,小松正直 ¹ ,竹中博士 ¹ ,岡元太郎 ² ,中村武史 ³ (1岡山大学、2東京工業大学、3防災科学技術研究所) 11:15 S08-25 大阪府北部の地震の余震域とその周辺の応力場 *飯尾能久 ¹ ,片尾 浩 ¹ ,富坂和秀 ¹ ,澤田麻沙代 ¹ ,造谷拓郎 ¹ ,長岡愛理 ¹ ,中川 潤 ¹ ,大柳修慧 ¹ ,原 将太 ¹ ,阪口光 ¹ ,酒井慎一 ² ,有志 ¹ ,松本 聡 ² ,松島 健 ² ,神面めぐみ ² ,酒井慎一 ³ ,増田正孝 ³ ,田中伸一 ³ ,林 能成 ⁴ (1京都大学防災研究所、2九州大学地震火山観測研究センター、3東京大学地震研究所、4関西大学社会安全学部) 11:30 S08-26 弾性歪エネルギーに基づく地震破壊規準による余震の評価 *寺川寿子 ¹ ,松浦充宏 ² ,野田朱美 ³ (1名古屋大学大学院環境学研究所、2統計数理研究所、3防災科学技術研究所) 11:45 S08-27 剪断破壊のエネルギー論的考察に基づく余震発生の評価規準 *松浦充宏 ¹ ,寺川寿子 ² ,野田朱美 ³ (1統計数理研究所、2名古屋大学環境学研究所、3防災科学技術研究所)	10:30 休憩 10:45 S22-05 理論地震波記録の時系列空間伝搬を教師データとした3D CNNを用いた機械学習による震源決定 *杉山大祐,坪井誠司 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構) 11:00 S22-06 ランニングスペクトル画像認識による地震・低周波微動シグナルの識別 *中野 優,杉山大祐,堀 高峰,森谷 立,坪井誠司 (海洋研究開発機構) 11:15 S22-07 ノンパラメトリックベイズを用いた連続波形記録の教師なし自動分類 *小寺祐貴 ¹ ,酒井慎一 ² ,西宮隆仁 ¹ (1気象庁気象研究所、2東京大学地震研究所) 11:30 S22-08 震央方位を考慮した機械学習による地点固有の地震動評価モデルの検討 *石井 透,小穴温子,和田健介 (清水建設株式会社) 11:45 S22-09 機械学習を用いた関東地方の地震動評価モデルの検討 *小穴温子,石井 透,和田健介 (清水建設)	10:30 休憩 10:45 S10-06 沼津沖内浦湾における海中海底下イメージングの事例 *鶴 哲郎 ¹ ,朴 進宇 ² ,荒井晃作 ³ ,古山精史朗 ¹ ,甘糟和男 ¹ ,内田圭一 ¹ ,小川真由 ¹ ,清水史緒 ¹ ,野 徹雄 ⁴ ,中村恭之 ⁴ (1東京海洋大学、2東京大学大気海洋研究所、3産業技術総合研究所、4海洋研究開発機構) 11:00 S10-07 十勝平野断層帯海域延長部における活断層調査:高分解能音波探査記録に基づく分布・性状の把握 *大上隆史 ¹ ,阿部信太郎 ² ,内田康人 ³ ,仁科健二 ³ ,荒井良祐 ⁴ ,久保尚大 ⁴ ,向山建二郎 ⁴ (1産業技術総合研究所、2地震予知総合研究振興会、3北海道立総合研究機構、4川崎地質株式会社) 11:15 S10-08 十勝平野断層帯海域延長部における活断層調査:柱状採泥試料に基づく活動性の解明 *内田康人 ¹ ,仁科健二 ¹ ,大上隆史 ² ,阿部信太郎 ³ ,荒井良祐 ⁴ ,久保尚大 ⁴ ,向山建二郎 ⁴ (1北海道立総合研究機構 地質研究所、2産業技術総合研究所、3地震予知総合研究振興会、4川崎地質株式会社) 11:30 S10-09 山形盆地北部における変動地形と構造発達 *榎原京子 ¹ ,岡田真介 ² ,小坂英輝 ³ ,三輪敦志 ⁶ ,阿部恒平 ⁶ ,越後智雄 ⁵ ,今泉俊文 ⁴ (1山口大学教育学部、2東北大学名誉科学国際研究所、3株式会社環境地質、4東北大学名誉教授、5一般財団法人 地域 地盤 環境 研究所、6応用地質株式会社) 11:45 S10-10 活断層の長期評価と近畿地方中央部の第四紀後半の地形発達史は調和的か? *川崎一朗 (東濃地震科学研究所)

A会場 (百周年記念ホール) 午後 S25.パネルディスカッション「南海トラフ巨大地震」 基調講演 (講演時間30分) コーディネーター 松島信一	B会場 (国際科学イノベーション棟シンポジウムホール) 午後 S12.岩石実験・地殻応力 S11.地震に伴う諸現象 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 古本宗充・小村健太郎	C会場 (総合研究8号館NSホール) 午後 S22.地震学における機械学習の可能性 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 小寺祐貴・内出崇彦	D会場 (時計台国際交流ホールI) 午後 S14.地震予知・予測 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 座長 林 能成・井元政二郎
14:30 基調講演 山岡耕春 (日本地震学会会長) 基調講演 中笠良昭 (日本地震工学会会長) 15:30 休憩 (10分) 15:40 パネリスト講演 堀 高峰 (海洋研究開発機構) 井出 哲 (東京大学) 三宅弘恵 (東京大学) 馬場俊孝 (徳島大学) 護 雅史 (名古屋大学) 奥村与志弘 (関西大学) 17:10 休憩 (5分) 17:15 ディスカッション 登壇者:パネリスト8名(両会長含む) 18:00 終了	14:30 S12-01 防災科研地震観測井コアへのコア変形法の適用—原位置地殻応力値推定の試み— *小村健太郎 ¹ ,林 為人 ² ,伊藤高敏 ³ ,船戸明雄 ⁴ (1防災科学技術研究所、2京都大学大学院工学研究科、3東北大学流体科学研究所、4深田地質研究所) 14:45 S12-02 火山碎屑性堆積物の摩擦特性とその微細構造の変化との関係 *福家朱莉 ¹ ,廣野哲朗 ¹ ,金木俊也 ² (1大阪大学・理、2京都大学・防災研) 15:00 S12-03 断層摩擦発熱指標としての炭質物熱熱成反応における繰り返し地震イベントの影響 *鳥村優太郎,廣野哲朗 (大阪大学) 15:15 S11-01 強力な衝撃的鉛直地震動は大規模な地滑りの発生に影響はないのだろうか *前原 博 (地球システム総合研究所) 15:30 S11-02 3Dトモグラフィーによる東北沖地震直前直後の電離圏電子密度異常の空間分布 *日置幸介 ¹ ,Muafiry Ihsan-Naufal ² (1北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学部門、2北海道大学大学院理学院自然史科学専攻) 15:45 S11-03 やや長周期の表面波の通過に同期した地磁気変動 *古本宗充,村上 理,浅井康広 (東濃地震科学研究所) 16:00 S11-04 地震に伴った“渦巻雲”の実体 *榎本祐嗣 ¹ ,山辺典昭 ¹ ,杉浦繁貴 ² ,近藤 斎 ² (1信州大学、2隼コンボン研究所)	14:30 S22-10 Improving the symmetry of ambient seismic field correlation functions with machine learning *Loic Viens, Tomotaka Iwata (Kyoto University, DPRU) 14:45 S22-11 機械学習とアンサンブルカルマンフィルタのハイブリッド手法を用いた南海トラフ巨大地震シミュレータの摩擦パラメータ推定 *山本 友 ¹ ,平原和朗 ^{1,3} ,八谷大岳 ^{1,2} ,高橋温志 ¹ ,上田修功 ¹ (1理化学研究所革新知能総合研究センター、2和歌山大学、3香川大学) 15:00 S22-12 最近傍探索を用いたマッチドフィルターと深部微動すべりインバージョンの高速化 *水野野人,井出 哲 (東京大学大学院理学系研究科) 15:15 S22-13 再帰型ニューラルネットワークによる2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の機械学習 *山住典史 ¹ ,三井雄太 ² (1静岡大学大学院総合科学技術研究科、2静岡大学理学部地球科学科) 15:30 S22-14 隆起海岸段丘地形のDEMクラスタリングによる自動検出と分類 *小森純希 ¹ ,安藤亮輔 ¹ ,穴倉正展 ² (1東京大学、2産業技術総合研究所) 15:45 S22-15 畳み込みニューラルネットワークを用いた地形分類予測モデルの検討 *赤木 翔,早川俊彦 (三菱スペース・ソフトウェア株式会社)	14:30 S14-01 地震予知の可能性に関する専門家アンケートに対する社会的反応 *林 能成 (関西大学社会安全学部) 14:45 S14-02 複数測定地点の大気イオン濃度を用いた地震発生予測 *渡邊健太 ¹ ,矢田直之 ² (1神奈川工科大学大学院工学研究科機械工学専攻、2神奈川工科大学工学部機械工学専攻) 15:00 S14-03 地震予知を目指した動物の異常行動の計測 *矢田直之 ¹ ,渡邊健太 ² (1神奈川工科大学工学部機械工学専攻、2神奈川工科大学大学院工学研究科機械工学専攻) 15:15 S14-04 アマチュア研究グループ“なまずの会”による地下水異常と地震との関係についての再調査 *藤原義明,長尾年恭 (東海大学海洋研究所) 15:30 S14-05 Delaunay三角形網による高分解能地震活動モデル *尾形良彦 (統計数理研究所) 15:45 S14-06 千島海溝沿い超巨大地震の発生確率と認識論的不確定性 *井元政二郎,森川信之,藤原広行 (防災科学技術研究所)

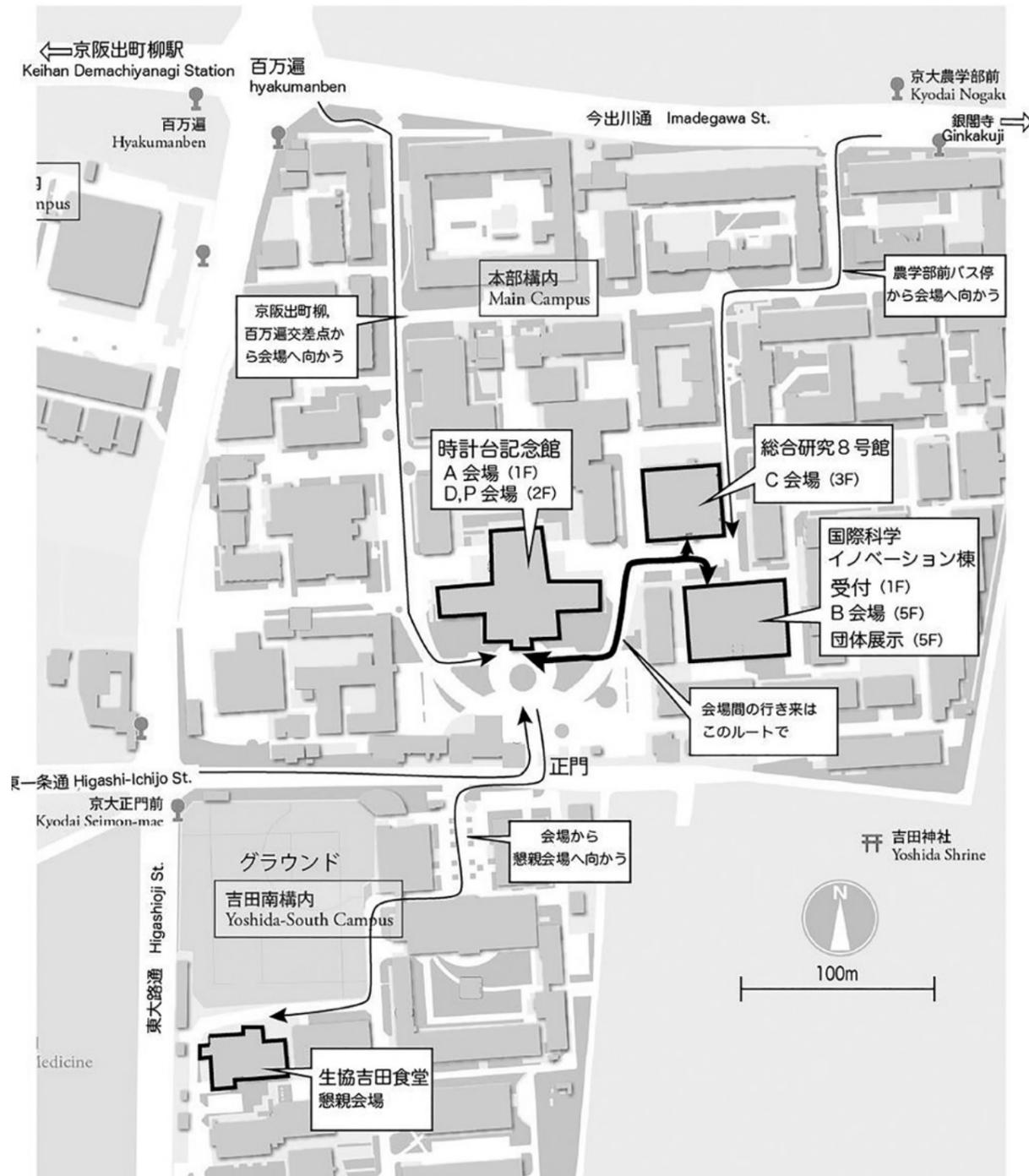
#は招待講演

ポスター発表 9月18日(水)13:00~14:30 ポスター会場(百周年時計台記念館 国際交流ホールII・III)
S08, S10, S12, S14, S21, S24

S08.地震発生の物理	S10.活断層・歴史地震	S21.長周期地震動 —その生成から建造物の応答、社会の対応まで—
S08P-01 2018年11月11日東アフリカ・マヨット島付近の単振動地震 —イラン広帯域地震観測網による観測— サデギ ホセイン ¹ 、*鈴木貞臣 ² (¹ フェルドウシ大学マッシュアド、理学部地質学、イラン、 ² (公財)地震予知総合研究振興会、東濃地震学研究所)	S10P-01 1914年桜島地震にともなう津波に関する記述の整理 *小林励司(鹿児島大学大学院理工学研究所)	S21P-01 断層近傍の長周期地震動 *額縁一起(東京大学地震学研究所)
S08P-02 New insight into rupture process and generating mechanism of the 2017 Mw 6.5 Jiuzhaigou earthquake *Yaping Hu ¹ , Yuji Yagi ² , Kousuke Shimizu ¹ , Ryo Okuwaki ² (¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, Tsukuba, Ibaraki, Japan., ² Fault of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, Tsukuba, Ibaraki, Japan.)	S10P-02 伊豆・小笠原海域における波源断層モデルの設定と津波の影響評価 *栗松君衣 ¹ , 松山尚典 ¹ , 大角恒雄 ² , 高橋成実 ³ , 藤原広行 ² (¹ 応用地質株式会社、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 海洋研究開発機構/防災科学技術研究所)	S21P-02 海溝型超巨大地震の長周期地震動評価のための特性化震源モデルにおける破壊不均質性 *岩城麻子、前田宜浩、森川信之、藤原広行(防災科学技術研究所)
S08P-03 1984年長野県西部地震の余震の震源パラメータ *村上 理(東濃地震学研究所)	S10P-03 2016年熊本地震で出現した地表断層群と余震分布との関係 *藤原 智、矢来博司、小林知勝、森下 遊、中益貴元(国土地理院)	S21P-03 長周期地震動振幅の短距離間空間較差の発生要因の理解と簡易的予測に向けた数値実験による予備的検討(その3) *畑山 健(消防庁消防研究センター)
S08P-04 高精度震源決定による2016年ニュージーランドカウラ地震の震源分布の特徴と断層形状 *河村優太 ¹ , 松本 聡 ¹ , 岡田知巳 ² , 松野弥彦 ² , 飯尾能久 ³ , 佐藤 将 ² , Bannister Stephen ⁴ , Ristau John ⁴ , Savage Marthe ⁵ , Twonend John ⁵ , Pettinga Jarg ⁶ , Ghisetti Francesca ⁷ , Sibson Richard ⁸ (¹ 九州大学、 ² 東北大学、 ³ 京都大学、 ⁴ ジー・エヌ・エスサイエンス、 ⁵ ヴィクトリア大学ウェリントン、 ⁶ カンタベリー大学、 ⁷ テラジオリカ、 ⁸ オタゴ大学)	S10P-04 The Timing and Extent of the Last Surface Rupture Event on the Himalayan Frontal Thrust in Central Nepal around Butwal *Koji Okumura ¹ , Prakash Pokhrel ² , Soma Nath Sapkota ² , Hisao Kondo ³ , Takuya Furuhashi ⁴ (¹ Hiroshima University, ² Department of Mines and Geology, ³ Geological Survey of Japan, ⁴ Taiheiy Cement Coporation)	S21P-04 A preliminary analysis of long-period response spectra (1-10s) at S-net for the 2016 Mw7.4 off Fukushima earthquake *ダカール ヤダブブラサード、鈴木 亘、木村武志、功刀 卓、青井 真(防災科学技術研究所)
S08P-05 スラブ内地震クラスターの発生メカニズム *臼井友輔、中島淳一(東京工業大学)	S10P-05 大分市端登地域に分布する後期白亜紀大野川層群頁岩中に発達する小規模断層の活動性及び破碎帯構造の特徴 溝口一幸 ² 、佐々木俊法 ² 、*飯田高弘 ¹ 、田中竹延 ³ (¹ 株式会社セレス、 ² 一般財団法人電力中央研究所、 ³ 阪神コンサルタンツ)	S21P-05 東京湾岸で観測された2016年三重県南東沖地震の長周期地震動 *植竹富一(東京電力ホールディングス株式会社)
S08P-06 テクトニック地震の微小な非ダブルカップル成分の検出:プレート境界地震への適用 *今西和俊、内出崇彦(産業技術総合研究所)	S10P-06 高分解能浅層反射法地震探査から見た神城断層先端部の構造と2014年長野県北部の地震の地表地震断層の関係 *池口直毅 ¹ , 松多信尚 ² , 榎原京子 ³ , 岡田真介 ⁴ , 廣内大助 ⁵ , 戸田 茂 ⁶ , 石山達也 ¹ , 小池太郎 ⁷ , 野田克也 ⁷ , 佐藤比呂志 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 岡山大学大学院教育学部、 ³ 山口大学教育学部、 ⁴ 東北大学災害科学国際研究所、 ⁵ 信州大学教育学部、 ⁶ 愛知教育大学教育学部、 ⁷ 株式会社ジオンズ)	S21P-06 相反定理を用いた関東平野における長周期地震動の震源方位による変動評価 *寺島芳洋 ¹ , 福和伸夫 ² (¹ 竹中工務店技術研究所、 ² 名古屋大学減災連携研究センター)
S08P-07 短期的スロースリップイベント発生源モデルの再考:歪の空間分布による非断層すべり成分の検出可能性 *光井能麻 ¹ , 浅井康広 ¹ , 板場智史 ² (¹ 東濃地震学研究所、 ² 産業技術総合研究所)	S10P-07 南海トラフ海域:紀伊半島沖~室戸岬沖の断層分布と構造的特徴 *新井 麗 ¹ , 高橋成実 ¹ , 勝山美奈子 ¹ , 田中恵介 ¹ , 鎌田弘己 ¹ , 佐藤智之 ² , 井上卓彦 ² , 金田義行 ³ (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 国立研究開発法人産業技術総合研究所、 ³ 三井物産)	S21P-07 関東平野の堆積層における長周期成分のQ値推定 *吉田治雄、佐藤吉之(竹中工務店技術研究所)
S08P-08 豊後水道における深部低周波微動の潮汐相関の時間変化:長期的スロースリップイベントおよび深部超低周波地震との関係 *弘瀬冬樹 ¹ , 小林昭夫 ¹ , 前田憲二 ² (¹ 気象研究所、 ² 気象庁)	S10P-08 活断層詳細デジタルマップ[新編]から見えてきた活断層研究の現状と課題 *岡部恒平 ¹ , 立石 良 ² , 下山奈緒 ¹ , 三輪敦志 ¹ , 越後智雄 ³ , 岡田真介 ⁴ , 今泉俊文 ⁴ (¹ 応用地質、 ² 富山大学、 ³ 地域 地盤 環境 研究所、 ⁴ 東北大学)	S21P-08 2018年大阪府北部の地震時の浅部・深部地盤を考慮した三次元解析とKiK-net此花で観測された特異な後続波群の分析 *片岡卓也、永野正行(東京理科大学)
S08P-09 アレイ観測波形による深部低周波微動のスペクトル推定 *松浦真樹 ¹ , 平松良浩 ¹ , 中本敬大 ¹ , 内出崇彦 ² , 今西和俊 ² (¹ 金沢大学、 ² 産業技術総合研究所)	S12.岩石実験・地殻応力	S21P-09 鳥取県境港市で観測されるやや長周期地震動 *香川敬生 ¹ , 吉田昌平 ² , 野口竜也 ¹ (¹ 鳥取大学大学院工学研究科、 ² (株)大崎総合研究所)
S08P-10 パークフィールドの低周波地震の震源メカニズム解 —理論波形振幅を用いた振幅インバージョン— *麻生未季 ^{1,3} , 麻生尚文 ² , 井出 哲 ¹ (¹ 東京大学、 ² 東京工業大学、 ³ 応用RMS(株))	S12P-01 山陰地方の空間応力パターン推定:高解像度解析に向けた予備的解析 *若田貴樹 ¹ , 飯尾能久 ² (¹ 県立広島大学、 ² 京都大学 防災研究所)	S21P-10 地層不整形性に起因した地震被害の局所化・甚大化メカニズムの解明 ~2016年熊本地震による阿蘇カルデラの陥没被害を例に~ *中井健太郎 ¹ , 野田利弘 ¹ , 村尾英彦 ² , 福田慎也 ¹ , 浅岡 顕 ³ (¹ 名古屋大学、 ² 村尾地研、 ³ 地震予知総合研究振興会)
S08P-11 断層すべり解析に基づく自然発生微動と誘発微動の比較 *太田和晃(京都大学防災研究所)	S12P-02 回転摩擦実験による模擬断層ガウジの非晶質化 *金木俊也 ¹ , 大橋聖和 ² , 廣野哲朗 ³ , 野田博之 ¹ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 山口大学大学院創成科学研究科、 ³ 大阪大学大学院理学研究科)	S21P-11 3D velocity model of the Bogota basin (Colombia) based on dense microtremors arrays measurements, gravity, and geological data *Nelson Pulido ¹ , Helber Garcia ² , Andrea Riaño ³ , Shigeki Senna ¹ (¹ National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience, ² Servicio Geológico Colombiano, ³ Universidad de los Andes)
S08P-12 2011年東北地方太平洋沖地震後に岩手県沖で発生した様々な繰り返し地震系列の破壊過程 *金 亜伊 ¹ , 内田直希 ² (¹ 横浜市立大学、 ² 東北大学)	S12P-03 地震時における断層での焼結現象の実験的再現 *長田史應、廣野哲朗(大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻)	S21P-12 DASと既存の光ファイバーケーブルを用いた長大建造物のモニタリングと長周期地震動の観測 *木村恒久(シュルンベルジェ)
S08P-13 2011年東北沖地震による繰り返し地震の震源パラメータ変化(2) *立岩和也、岡田知己、河野俊夫、内田直希(東北大学)	S12P-04 断層に含まれる高熱炭素質物の熱成熟反応の速度論的影響の実験的解明 *山下修平、廣野哲朗(大阪大学)	S21P-13 貯蔵タンクのスロッシングによる液面上昇量の観点からみた既往3地震における長周期地震動の特徴 *山本鐘太 ¹ , 庄司 学 ² (¹ 筑波大学大学院システム情報工学研究科構造エネルギー工学専攻、 ² 筑波大学システム情報系)
S08P-14 室内水圧破壊実験時に生じるAcoustic Emissionの絶対規模とコーナー周波数の推定 *今北啓一 ¹ , 直井 誠 ¹ , Chen Youqing ¹ , 山本和歌 ¹ , 森重有矢 ¹ , 堤 直史 ¹ , 川方裕則 ² , 石田 毅 ¹ , 田中浩之 ³ , 有馬雄太郎 ³ , 北村重浩 ³ , 兵藤大祐 ³ (¹ 京都大学、 ² 立命館大学、 ³ JOGMEC)	S12P-05 Experimental constraints on origins of high Vp/Vs anomalies in slow slip regions *上原真一 ¹ , 西村佳也 ¹ , 溝口一幸 ² (¹ 東邦大学大学院理学研究科、 ² 電力中央研究所)	S21P-14 長周期地震動の予測情報に関する実証実験への取り組み —高層ビルごとの周期別階級表示ツール開発— *若目田美芽 ¹ , 加地正明 ¹ , 川野 翼 ¹ , 久田嘉章 ² , 村上正浩 ² (¹ 株式会社エイツー、 ² 工学院大学)
S08P-15 AE活動及びモーメントテンソル解析による破碎流体粘度が水圧破砕に及ぼす影響の検討 *田中 壘 ¹ , 直井 誠 ² , Chen Youqing ³ , 山本和歌 ¹ , 今北啓一 ¹ , 堤 直史 ³ , 下田晃嘉 ¹ , 平松大樹 ³ , 川方裕則 ⁴ , 石田 毅 ¹ , 田中浩之 ⁵ , 有馬雄太郎 ⁵ , 北村重浩 ⁵ , 兵藤大祐 ⁵ (¹ 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻、 ² 京都大学防災研究所地震予知研究センター、 ³ 京都大学大学院エネルギー科学研究科、 ⁴ 立命館大学理工学部、 ⁵ 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)	S12P-06 アルゴン雰囲気下におけるドレイトの摩擦特性および摩擦発熱に対する温度効果 *横山湧紀、*澤井みち代、金川久一(千葉大学)	
S08P-16 M5.5 Orkney地震を引き起こした断層岩および母岩の鉱物組成と微小構造(ICDP DSeis Project) *横山友輝 ¹ , 廣野哲朗 ¹ , 小笠原 宏 ² , 矢部康男 ³ (¹ 大阪大学、 ² 立命館大学、 ³ 東北大学)	S14.地震予知・予測	S22.地震学における機械学習の可能性
S08P-17 大型岩石摩擦実験で再現されたCascade-upプロセス *山下 太 ¹ , 福山英一 ^{2,1} , 徐 世慶 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 京都大学大学院工学研究科)	S14P-01 Spatial heterogeneity of aftershock productivity on the Kumamoto earthquake rupture modeled by the finite source ETAS model *Yicun Guo, Jiancang Zhuang, Yosihiko Ogata (Institute of Statistical Mathematics)	S22P-01 Detection of seismic signals under low SNR condition using an artificial neural network: Toward the development of low cost seismic network 金 亜伊、*上松大輝(横浜市立大学)
S08P-18 Dynamic Aspects of Rupture Propagation at a Subsonic but Near-Rayleigh Wave Speed *上西幸司(東大新領域)	S14P-02 中国陝西省韓城地殻変動観測所顕著地殻が異常傾斜の要因分析 *楊 小林 ¹ , 危 自根 ² , 潘 存英 ¹ , 楊 俊芳 ¹ (¹ 陝西省地震局、 ² 中国科学院測量与地球物理研究所)	S22P-02 畳み込みニューラルネットワークによる地震ノイズの識別 *工藤祥太 ¹ , 下條賢悟 ¹ , 瀧岡功史 ² (¹ 気象庁、 ² 気象研究所)
S08P-19 Secondary Rupture at a Distance from the Primary One without Further External Loading *上西幸司 ^{1,2} , 福田優貴 ² , 長沢国洋 ² (¹ 東大新領域、 ² 東大工)	S14P-03 Comparison of Models of Long-term Seismic Hazard and with An Application to North China *Ziyao Xiong ^{1,2} , Jiancang Zhuang ¹ , Shiyong Zhou ² (¹ The Institute of Statistical Mathematics, Tokyo, Japan, ² School of Earth and Space Sciences, Peking university, Beijing, China)	S22P-03 理論地震波形記録を教師データとした機械学習による震源決定の試み II *坪井誠司、杉山大祐(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
S08P-20 開口を許した非平面断層の動的破壊シミュレーション *栗原悠宇希 ¹ , 野田博之 ² (¹ 京大理、 ² 京大防災研)	S14P-04 静岡県西部地域の地下水温変化 *上久保廣信(浜松市立開成中学校)	S22P-04 短周期OBSデータのクラス解析による低周波微動検出の試み *高橋秀輔 ¹ , 日野亮太 ¹ , 太田雄策 ¹ , 内田直希 ¹ , 鈴木秀市 ¹ , 篠原雅尚 ² (¹ 東北大学、 ² 東京大学)
S08P-21 境界積分方程式法による動的破壊の数値計算における時間発展法の安定性について *野田博之 ¹ , 栗原悠宇希 ² , 佐藤大祐 ¹ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 京都大学理学研究科)	S14P-05 地震前兆検出法の開拓 *高橋耕三(無い)	S22P-05 機械学習モデルと予測結果の理解に向けて:地震動指標のランダムフォレスト予測器の例 *久保久彦、功刀 卓、鈴木 亘、木村武志、青井 真(防災科学技術研究所)
S08P-22 動力学モデルを用いた断層浅部の挙動に関する試験 *津田健一 ¹ , アルズベイマ サマン ¹ , 小川幸雄 ¹ , 渡辺孝英 ¹ , 佐々木哲朗 ² , 岩瀬 聡 ² , 椛代大輝 ² , Ampuero Jean-Paul ³ (¹ 大崎総合研究所、 ² 中部電力、 ³ コート・ダジュール大)	S14P-06 地震予知の理論とメカニズムを、根拠とする電磁的観測データを添えて発表します。 *國廣秀光(JYAN研)	S22P-06 site2vec: サイト特性をデータから学習する地震動予測器 *岡崎智久 ¹ , 岩田具治 ^{1,2} , 岩城麻子 ³ , 藤原広行 ³ , 上田修功 ¹ (¹ 理化学研究所革新知能統合研究センター、 ² NTTコミュニケーション科学基礎研究所、 ³ 防災科学技術研究所)
S08P-23 日向灘における大地震発生シナリオの再検討 *中田令子、堀 高峰、兵藤 守(海洋研究開発機構)		S22P-07 常時地球自由振動の振幅の時系列解析 *功刀龍一、須田直樹(広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻)
S08P-24 改良型Olami-Feder-Christensenモデルによる地震の規模と発生頻度の関係 *岩瀬康行 ¹ , 江口孝雄 ² (¹ 防衛大学校応用科学群地球海洋学、 ² 元防衛大学校応用科学群地球海洋学)		S22P-08 ひずみ観測データの変化のパターンの機械学習による分類の試み *露木貴裕(気象庁気象研究所地震津波研究部)
		S22P-09 機械学習を用いた異なるパラメータの相対強度マップの統合方法の検討 *八谷大岳 ^{1,2} , 平原和朗 ¹ , 上田修功 ¹ (¹ 理化学研究所革新知能統合センター、 ² 和歌山大学システム工学部)
		S22P-10 シナリオ検索および回帰法のための沖合津波観測点の最適配置の検討 *馬場俊孝 ¹ , 宮下卓也 ² , 森 信人 ² , 中西健太 ³ , 岡田真人 ⁴ (¹ 徳島大学大学院、 ² 京都大学、 ³ ニタコンサルタンツ、 ⁴ 東京大学)

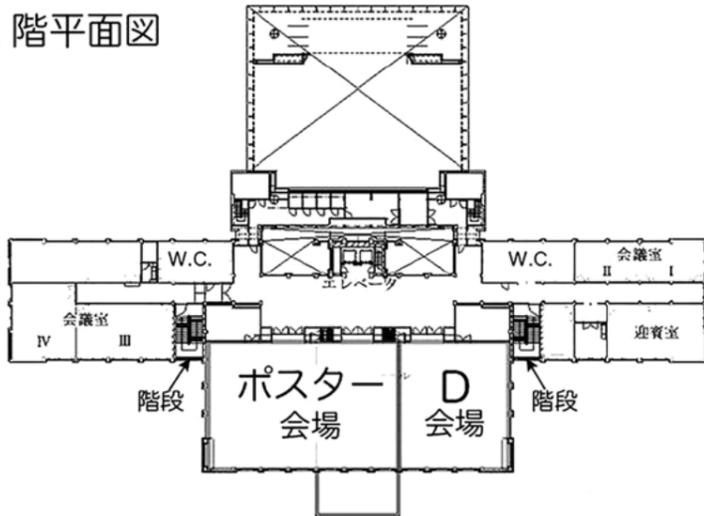
S24.2019年6月18日山形県沖の地震

○会場内の案内図

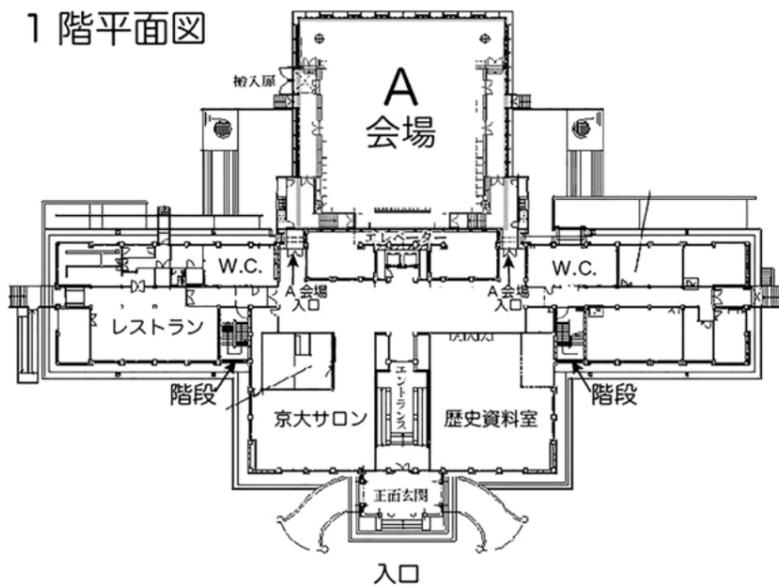


京都大学吉田キャンパス構内, 会場配置図

2 階平面図



1 階平面図



時計台記念館(A, D, ポスター会場)館内図

KYOTO

TRADITION MEETS INNOVATION
Your Japan is Here

本事業は、京都市および公益財団法人京都文化交流
コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。

This program is supported by a subsidy from Kyoto City and
the Kyoto Convention & Visitors Bureau.